無産階級評論雜誌

大衆

VOL.1　十月號　NO. 8

大正十五年四月二十四日第三種郵便物認可　大正十五年九月二十八日印刷　十月一日發行　(毎月一日一回發行)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市役所社會部編纂

月刊

勞働月報

定價壹部拾貳錢
郵税貳錢
半ヶ年分七拾五錢

資本主義文明は何れの國に於ても都市を中心として流れて居る。吾々は都市を正視することに依つてあらゆる近代的知識の要求を充し得る。此意味に於て我國に於ける代表的都市を求むれば大阪市を措いて之れに比肩し得るものはないであらう、勞働月報は即ち此の地に於ける信憑すべき資料に基き正確簡明に其の産業並に勞働狀態を表出せんとするものである。今や勞働問題は理論的討究より事實そのものゝ調査研究に向つて進まんとして居る折柄本誌の如きは正に好個の指針たるべきを信じて疑はない。敢て江湖に薦むる所以である。

京都市丸太町通寺町東
振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二
振替東京五三九〇九番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大衆

第一卷　第八號

□社會科學壓迫問題と無産階級の任務……大山郁夫（二）
□南洋貿易會議の意義……荒木五郎（八）
□左翼當面の問題と中間派の結成……薄茂人（一〇）
□統一運動に對する中間團體の任務……稲村隆一（一六）
□市電自治會の分裂政策とその反對運動……島上善五郎（二一）
□日本農民運動の方向轉換……守田道輔（二八）
□地主階級の飛躍と耕作權……青木惠一（四四）
□プロレタリア選擧運動と濱松市普選の經驗……原叔人（五五）
□國內戰線……（六七）
□ロシアに於ける勞働者敎育の回顧……クルプスカヤ（六九）
□インターナショナルノート……（七三）
□國際カルテルと資本主義……大森義太郎（七七）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會科學壓迫問題と無産階級の任務

一

社會科學研究學生大檢擧事件は、最近それに關する記事掲載の禁が解かれてから、その經過の概要が新聞紙を通じて一般社會に傳へられた。それに依ると、事件關係の三十八名の學生たちは、治安維持法及び出版法違反を以て問はれ、尚ほそのうちの一名は、不敬罪をも兼ねてゐるといふことである。

この事件に對して自由に批評を試みるやうなことは、今はまだその時期ではない。といふのは、まづ第一に、事件の經過に關してこそは、我々にも略ほ見當が附けられるほどの報道が供給されて來たが、しかし肝腎のそれの内容の重要點に亘る詳細の事項は、今尚ほ依然として我々の耳目から遮ぎられてゐるからである。それに加へて、この事件は一個の司法上の問題として、それの豫審は漸く終結したとは言ひ條、それの公判はまだこれからといふ際だから、我々がそれを批評する上には、無論幾多の不便が課せられてゐるのである。それ故に、事件そのものゝ性質に關しては、私は茲で一切口を噤むぐ外はない。

しかしながら、この事件を、それの今までに現はれた結果から見れば、それは間接に無産階級運動に向つて、若干の重要な示唆を與へてゐるものであることは、爭へない事實である。で、今それらのうちの二三を手當り次第に拾つて見ると、まづ第一にそれは、治安維持法の無産階級運動に對する關係もしくは地位について、一の現實的なテストを提供しようとしてゐる。次にそれは、無産階級理

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論としてのマルキシズムが、ブルジョア社會のあらゆる形相を活現することに依つて、支配階級に對して如何に現實的な自己恐怖を惹き起し、從つて如何に現實的な反應を招來しもしたし、また今後一層多く招來しようともしてゐるかを、最も明白に反映してゐる。この第二の點に關聯して、直ぐに次の第三の點が喚び起される。それは即ち、無產階級の政治行動の進むに從つて次第にはッきりと意識されだして來た無產階級の自由獲得運動の必要は、今後ますます多く無產階級の積極的努力を要求するといふことが、この事件を通じて、無產大衆の耳へ警鐘を打つたやうに響いて來た、といふことである。

二

第五十議會に於て、治安維持法が普選法と相前後して通過されたとき、我國の無產大衆の本能は、瞬間的にそれの裡に資本の攻勢の陣立てを見て取つたと直感したところから、彼等は直にそれに應じて、惡法撤廢の運動を提起した。その時以來のこの運動の經過は、今こゝで跡づけて行く必要はあるまい。が、たゞ一事、それが既に終始したものでなく、今尙ほそれの進行過程の或る段階の――しかもその初めの方の或る段階の――上に在るものだといふことは、晝が晝であり、夜が夜であることゝ同程度に確實である。そして、無產階級の政治行動が現實的に活躍を開始しだすと、それがその鬪爭題目の一つとして揭げられるであらうことも、何人にも有理に疑はれる根據がないことである。

　と同時に、治安維持法が他の一方に於て儼然とその存在を主張してゐるといふこともまた、同樣に確實なる事實である。のみならず、それが實際上如何に働くものであるかに關して、今や一の活ける現實的テストが與へられようとしてゐることは、より近き我々の眼前の一事實のある。

「このたびの事件は、世間に影響する處も非常に大きいから、私たちは愼重に事件の解決を圖る必要があると思ふ。豫審の內容については、まだ詳細なことを申し上げることは出來ないが、兎も角治安維持法が出來てから最初の大きな事件で、大學生の平常が如何であらうとも、また彼等の信念が如何に眞面目なものであらうとも、法がある以上は矢張り裁ばかなければならない」。

　それは、「東西大學生の檢擧につき、事件の中心地として最初に手を下した京都

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地方裁判所檢事局の古賀檢事正」の談として、『時事新報』の九月十七日附の夕刊の第二ページに載せられたものである。我々はそれを文字通りに讀んで、些かの不審をも感じない。それは寧ろ『秋官の裁斷』に對する我々の緊要した注意を促す點として聞かれる。といふのは無論、『秋官の裁斷』そのものに對する我々の興味に聯關しての言葉ではない。それは結局、治安維持法の實際上の動きの現實的テストが、その『秋官の裁斷』を通して與へただらう、といふことに關聯して言はれるものである。その時こそ、治安維持法制定の際に無産大衆の心を掠めて起つた直感の當否、及びその當否の程度が、的確に指示され、實證されるであらう。

三

學生檢擧事件の經過の公表以來、一般の社會科學研究學生たちの間に、一種の濃厚なる不安の空氣が漂ひ始めたことは、我々の眼前に動いて居る一の活ける事實である。當局の彼等のすべてに對する壓迫が一層激烈化するであらうといふ危惧は、彼等の間に深く廣く行き渡るやうになつた。そしてその結果として、今や彼等のそれに對する抗爭か、學術研究自由擁護運動の形を取つて現はれようとする氣勢が、鬱然として醸もし出されつゝある。

一般學生たちの社會科學研究に對する當局の壓迫の目標となつてゐるものは、それの上に於て見られるマルキシズム研究の傾向であることは、今日では最早や餘りに明白になつて來てゐることである。それは、學生たちの社會科學研究の上に於て、マルキシズム研究が一の中心的傾向をなして來たことが明白であること同程度に明白である。

だが一般の學生たちの社會科學研究の上に於て、マルキシズムがさうした地位を占めるやうになつて來たのは、その社會科學研究の傾向の發生を促した眞の動機から見て、一の必然的の歸結である。彼等學生たちは、彼等の學生生活をしてゐるまゝで、今日の現實社會の變局に直面し、しかもその動搖からの影響に直接に晒されつゝあつた間に、その現實社會生活の實體への探求の、抑へ難き欲求を感ずるやうになつたのである。換言すれば、彼等は次第に、彼等の周圍の社會を知ることは、同時に自己を知ることだ、といふことを、彼等の學生としての體驗から學ぶやうになつたのである。そして彼等は尚ほそれに加へて、彼等の研究の進むに從つて、現實社會生活の科學

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

的認識の出發點でもあり、中心點でもあり、歸着點でもあるものは、資本主義の本質の徹底的解剖及び把握であることを悟るやうになつたのである。ところが、この點に於て最も多く現實的効果を擧げてゐるものは、今日までのところ、マルキシズムを措いて外にないといふことも、段々と彼等に知られるやうになつた。かくてマルキシズム研究は、最早彼等の社會科學から切り離せないものとなつたのである。

四

かうした形勢の增進に驚いた支配階級に迎合する學者や敎授たちは、或は講壇から、或は著書論文を通じて、マルキシズム攻擊を開始し、且つまた今でも續行してゐる。けれども、靑年たちが欲求する現實社會の實體の科學的認識に於て、マルキシズムに於て示された業績以上に優ぐれた業績が、攻擊者たちの側から竟に出て來なかつたことは、マルキシズム研究の傳播を不可抗のものにした。

そこでマルキシズム攻擊は、方法論上からのそれへの批難ともなつて現はれるやうになつた。だがこの場合に於ても、或る研究の成果が、その研究のために用ひられた方法の當否の現實的テストだといふ原則が、一個の提案としての作用を示した。さうなると、一派の人々は、マルキシズムは資本主義の普遍相の認識のためには最も適當な方法を提供してゐるが、資本主義の特殊相の認識のためには自ら別個の方法の存してゐるものであつて、殊に我國の資本主義の特質は、全然それに賴つてはゐられない、といふやうなことを唱へたりなどした。けれども、事實上、研究對象の特殊相の上に最も嚴密精透な檢討を加へる必要を主張し、且つそれを應用してゐることは、マルキシズムの最も顯著な特徵の一つである。たゞそこでは、個々の特殊相を全般の普遍相に照應せしめ、聯繫せしめて觀照すべきことが特に强調されてゐるだけのことである。そして、この點の誤謬であることが論證されない限りは、普遍相と特殊相とかと仔細らしいことを言つて、方法論上からマルキシズムに突擊する反對論は、到底學術的に成功したものだといふことが出來ないのである。マルキシズム攻擊のお先棒を承つた學者たちも、この點を如何ともすることが出來なかつたまゝで、兎に角今日に及んでゐるのである。

屢々かういふことさへも、支配階級側から言はれて來た。——即ち、大學に於ける學術研究の自由は絶對のものでない

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

から、社會科學の研究にしろ、許される部分こ許されない部分こがある、こ。だが、がういふ原則は、實際上すべての場合に適用される可能性がないこいふだけでなく、同時に學術本來の性質上、認容されるここが出來ないものでもある。一體許すこか許さないこかいふやうなここは、大學に於て社會科學なり、何々なりの研究科目を設置しようこする場合などに於ては、少くこも支配階級的言ひ分こしては、一應は尤もらしく——この場合に於ても、尤もにでなく、尤もらしくである——響くここだが、しかし社會科學なり、何々なりの研究科目の設置が一旦決定された上では、最早や學術的には押し通せない無理こなるのである。大學で社會科學を許すこか許さないこかゞ問題こなる場合には、爭點が自ら別のこころに移るが、しかし社會科學の研究が全體こしてそこで許されてゐる以上は、この部分やその部分の研究たけは許されないこいふやうなここは、學術的見地から默認の出來ない暴論である。それはすべての學術上の眞理の相對性——殊に部分的眞理こ全體的眞理この聯關性——から來る當然の歸結である。

けれども、學生たちの社會科學研究に對する支配階級の壓迫は、さうした學術的根據から來てゐるものではなくて、學術こは何等の交渉のない實際的根據から來てゐるものである。そしてその實際的根據こは、究極に於ては、ブルジョア社會の自己批判に對する支配階級の恐怖感に外ならないものだこいふここもまた、無論のここである。

五

支配階級は、着々こ崩壞期に近づきつゝあるブルジョア社會の内在的矛盾百出の惨ましい形相を、彼等自身に見るここを好まないし、また彼等自身以外のものに見せるここをも好まない。從つて彼等は、現實社會の科學的認識の一般化を甘んじて認容するここが出來ないのである。彼等のこの態度は、ブルジョア社會の自己批判への彼等の恐怖感を、直接に反映してゐるものである。かういふ理由から、彼等が社會科學研究に於けるマルキシズム研究の傾向に對して否認的態度を採るのは、彼等がそれの學術的正確性を認めないためではなくて、却て逆に、意識的にか無意識にか、それの學術的正確性に氣附いてゐるためである。彼等こいへども、曾ては『學術思想は學術思想を以て戰へ』こいふやうな、自由主義的勸言に耳を傾けた昔もある。否、現在では彼等は内心では、それが正當だこ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

思つてゐるに違ひないであらう。けれども彼等は、今日では最早や、さういふことに拘泥して躊躇してゐられないほどの焦燥を感じ始めてゐる。かくして彼等は、學術思想の分野にまで、益々盛んに辛辣極まる高壓手段を持ち込まうとする意氣組みを見せてゐるのである。そして、その高壓手段の脅威に對する抗爭が、學術研究自由擁護運動となつて現はれようとしてゐるのである。

社會科學研究への壓迫の影響の及ぶ範圍は、それ故に、單に直接それに從事する青年學生だけに限つたものだとはいへなくなるのである。反動化したブルジョアジーが、無産階級運動の理論及び行動に對して、今後ますます暴威を揮はうとする傾向に赴きつゝあることは、そこに充分にそれの徴候を示してゐる。そして、無産階級がこの形勢をそのまゝに傍觀して於ては、その方面に關する新しい法律が將來益々多く作られて行きもしようし、しかもそれの執行が益々嚴酷味を加へて行きもしよう。かくして、今日では犯罪でも何でもない行爲が、將來に於て一つ一つと逃れやうのない犯罪項目のリストを膨大ならしめる材料となつて行かないとも限らないのである。

かくて自由獲得運動は、無産階級運動の上に於て免られぬ任務の一つとなつて來てゐるのである。そして、そのために無産政黨が現實的に活躍し得るまでに成長するであらう日の到來が切實に待たれる、といふことも、當然のことである。ブルジョアジーや、プティ・ブルジョアターの自由戰爭時代は、最早やどこでも過去のものとなつてゐる。我國に於ても、嘗て海外に於て世界大戰が進行中であつた時代に於て、デモクラシーの思潮が當局の彈壓政策の下に立つたとき、ブルジョア・リベラリズムの信奉者たちが一齊に憤起して抗爭したことがあつた。當年の黎明會の或る程度にめざましかつた活躍などは、それの最も代表的なものであつた。けれども、今日に於ては、彼等は殆んど全然鳴りを鎭めてゐる。それは彼等が要求するだけの自由を獲得してゐるからでもあり、更らにまた彼等が無産階級の自由獲得運動にまで參加する必要を見てゐないためでもある。自由主義の標榜の下にプティ・ブルジョアジーの諸勢力を糾合してそれの主體としようとする意圖を揚言する民衆黨や、それと大同小異の聲言の下に立つ大日本農民黨やが成立したところで、それらが今後の自由獲得戰のためにどれほどのことをなし得るであらうかは、疑問とするほどの價値さへもないやうに、我々には考へられ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。で、今後の自由獲得戰は、究竟無產階級の――そして就中無產政黨の――手に・る積極的努力に俟たなければならないのである。この點だけからでも我々は、單に現在の勞農黨を擁護してゆくだけでなく、同時にそれを無產階級的見地から見て正しい方向へ進ましめるやうに鞭撻して行くことの必要を意識するものである。（大山郁夫）

南洋貿易會議の意義

一

　南洋貿易會議は九月十三日より二十三日まで十日に亘つて開かれた。召集者は外務大臣であつたが、關係官廳は商工、農林、遞信、內務に及び尙、金融資本家たる大藏省が介入したことは勿論で、兎に角、參集代表百五十名、會議の內容は下の七部、即ち、（一）企業及投資部、（二）輸入部、（三）輸出部、（四）運輸及通信部、（五）調査及情報部、（六）金融部、（七）法規部に分たれ、會議が原則として決議の原則を取らざる旨の聲明にも拘らず、日本資本主義の意識的の局面打開策として一般に注意された。

　而して外務大臣の聲明によれば今回の會議は「通商の便を求むる」外に他意なく、「移民問題に關しては絕對に討議しない」とあるが、當面の責任者たる某課長の談によると、資本輸出と移民は今會議の重點を爲して居ると察する餘地は充分であり、外國新聞雜誌に散見する所によるも、佛、和蘭兩國が、今回の會議を以て、日本金融資本の進出として少なからず神經を惱ましてゐることは明かで、佛領印度支那部に於ける佛人商工農會の如きは明に反對の意を表明して居る。

　外務省が斯く對外的の反感を犧牲にして召集した所以は又察するに難くない。大局的に見て日本資本主義は行詰りに近づきつゝあるし、加ふるに國內大資本家（例へば三井）の如きは、南洋に於ける中小企業を整理して、自家藥籠中のものたらしめむと欲して居るからである。而して此大資本と中小資本との對立は會議中事毎に看取することが出來た。

二

　今回の會議で明白にされたことは、現在南洋に於ける事業は、中小業者が大資本家に服從關係を取るに至る程、進んでも居なければ整理もされてゐないことが其一。

　日本金融資本は、南洋と日本とに於ける僅少なる利潤率の差に依つては、資本の輸出を利益としないこと其二。大小

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資本家の中間にある金融資本家としての官僚は、結局は大資本家の利益を助長して居るが、其外見上中間的性質の爲整理を遲延せしむる傾向あること其三、であつた。

(一)中小業者と大資本家との對立は事毎に起つた。輸出入金融に附いて前者は、信用不足の爲め、政府の保證其他、輸出保險の如きを求めたるに對し、大資本家側は其必要を認めず、運輸問題、通信問題等について船會社は大資本家の立場を擁護して中小の意見は大畧入れられなかつた。しかも、大藏省に於ては、何等中小保護の爲の言質を與へて居ないから、中小業者は漸次陶汰さるゝの止むなきに至るだらうことは、外務省の好意ある如き企てにも拘らず、豫見するに難くない。此點につき三井の代表者安川雄之助の如きは、意見書中に公然と中小企業の整理を力說して居るのは注目す可きである。

(二)資本輸出の前提となるのは、兩國間の利潤の差であるが、南洋に於ける企業利潤率はゴムの比較的有利な此二ヶ年間に於いて、マレー半島に於ける栽培業百七十六の平均配當率九分、蘭領印度に於ける栽培業九十九の平均配當一割強、工業會社二十六の平均配當五分である。

以上の狀態では集積の比較的少額の日本の資本が流出する餘地は極めて少なく、企業金利の如きは、反つて或は南洋方面より高率なる如き場合も明かになつたのは、日本金融資本の輸出は將來共に絕望と謂はざるを得ないであらう。

(三)此に於てか預金部資金は必然大小資本家の等しく目指す所となるのであるが、預金部資金運用の表面上非營利的色彩か、預金部資金の金融資本的性質を減殺して居る爲に、南洋に於ける平均配當との差益が實に五分にも達するに係はらず、資本の輸出を不可能として居る。從つて臺灣銀行、朝鮮銀行に對する過當なる補助を與へた預金部に對し、いさゝか望みを囑した中小業者は失望と共に預金部の役割の何たるかを痛感したのは明かである。

終りに會議の結果に就いて一言しよう。外務當局の今回の企てが、決議機關に非ず、實行機關に非ず、諮問機關にも非らざるに、一般の注目を惹いたのは、要するに行詰りつゝある資本主義打開の方策に關する最初の試みであつたからである。而かも會議の齎した直接の結果としては、何等見る可きものはない。輸出業者に取つては輸出信用保證制度の硏究　企業家に取つては、企業資金に關する二三の考慮が政府側によつて爲されたこと等をせめてもの慰とするだけであらうが、全體として、政府特に預金部の性質曝露、中小企業家の陶汰整理傾向促進、日本金融資本の未發達、等が明白にされたのではないかと思はれる。

(荒木五郎)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

左翼當面の任務と中間派結成

山川均氏の論文を讀む

薄　茂　人

一、山川氏論文の要旨

大衆九月號に於ける勞農黨左翼除外に關聯し、左翼當面の諸問題に關する論文と、同月のマルクス主義に現れた山川均氏の「勞働農民黨と左翼の任務」を合はせ味讀したる筆者は、混沌たる左翼陣營のなかに、山川氏が左翼の進出すべき大道をさし示されたる、氏のいつも乍らの識見に推服し、いつも乍らの努力に感謝し、とりわけ教へらるゝところの多かつたことを喜ぶものである。それ故にさればこそ、こゝにこれに對する若干の所見を述べ、現下の一般的狀勢のもとに於て、左翼はいかに進むべきか、——左翼當面の任務——につき、重ねて探究せんと欲する。

其の所以は、過去の、にがき過失を、再び繰り返へさゞらんと欲するに外ならぬ。

先づ、氏の論文の要旨を掻ひ摘んで記す。(くはしくはマルクス主義九月號に付て知られたい)

1. 黨の左翼除外は、「意識的右翼結成を告示したものである」とに、左翼分子の黨に對する態度變更の必要が迫られてゐる。

2. 黨の形成過程に於ては、政治への諸傾向の、全體としての發展が、すなはち單一無産政黨であつて、それは必然に

大衆的規模に於て分化の作用が行はれるのではあるが、黨の形成される(成立ご或る程度に固る)までの期間は、右の傾向の全體こしての生長發達を特徴こする。この見解が、左翼の態度の基調こなつたのである。

3. 右翼の結成、左翼の戰術の誤り、等にて、單一政黨——全體こしての生長發達——を救ふがために左翼は退却をつゞけてきたが、退却の根本的な條件、——單一政黨の確立——全體こしての政治への傾向は消滅した。

4. しかし乍ら、單一政黨は絶對に必要である。左翼を外にしては、之れを救ふ道は無い。即ち左翼の積極的進出をなすべきである。

5. 右翼指導者この鬪ひ、黨の地方的組織こ活動(單一政黨の性質を備へたる)支部承認の要求、横斷的單一政黨擁護運動の組織、黨内左翼分子の積極的活動、等々十二項の當面の任務の遂行。

二、左翼の退却と進出

山川氏の論文によるこ、昨日は退却を是こし、今日は進出を是こする。しからば、いふこころの退却、進出こは何に乎。「かつては左翼の退却——左翼が自らを殺し、自らを犧牲こすることーーが、無産政黨を活かす唯一の道であつた。今日は左翼が自らを活かすこと、左翼が積極的に進出し、自己を擴充し、單一政黨の實現を妨げてゐる勢力こ決定的に鬪つてよくこれを克服することが、唯一の道こなつた」

氏のいふこころの退却、進出こは即ちこれである。

氏の、いふこころの退却こは、自らを殺し自らを犧牲こするここである。かゝる退却を、氏によれば、「昨年十月十七——十九日の委員會から、農民勞働黨の禁止をへて今日にいたるまで、左翼は……其の退却をつゞけてきた」のであつた。

かゝる退却は、黨の組織過程又は成立後の黨の中央部から、左翼が遠慮——これを退却こ云へば退却である——してゐた、又させられてゐたことだけではなく、氏の論文によれば、左翼全線の總退却を意味する。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

退却とは海潰の引くやうな退却であり、進出とは、雪崩れをうつて、無二無三に押し寄せる態の進出である。いかに氏の考察の機械的なることよ。また實際に於て、昨年十月より、今日にいたる、退却をつゞけたところの、左翼の黨に對する行動は、まさしく、總退却であつた。

さらに、いふところの退却の意義を俗解すれば、

「兄弟數人で、建築工事にとりかゝつたが、兄がゐては、建物が出來さうもないので、そこで兄は退却して、弟等に任せて見たが、やはり兄が居なければ、出來ない。そこで、やをら腰をあげて、兄が工事場へ進出する」と、同じ謂れである。

そもそも斯くの如き退却があらうか。現下の一般的狀勢のもとに於て、左翼の陣營を全體的に俯瞰して、かゝる退却――これと表裏する進出――は斷じてあり得ない。

三、過去の過失と退却の原因

しかし乍ら、黨の組織過程、成立後の中央部より、左翼團體の代表者が、其の足場から退却を餘儀なくされた事は確かだ。之れが「單一政黨を救ふがための」退却であつた。

この退却は、何んに原因するか。この原因の探明は、左翼當面の任務――山川氏の進出――を決定する重要な基礎的條件として、左翼の前面に横はる。

山川氏によれば、

一、左翼分子の戰術上の誤り(ないしは動搖)少なくも急速に結成する右翼を、中立的の要素から孤立せしめることに失敗した。左翼の「政治への傾向」に對し、分化作用の豫期せられたよりも急激に進行したる見解の、或る範圍以上の詳細においての誤り。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、右翼の急速なる結成――左翼戰術の動揺による助長――による分裂の危機。

「左翼戰術の誤り」、と山川氏によつて承認されたる左翼の過失は、云ふまでもなく左翼退却の重大な原因であつた。しかし乍ら、然るに、辛ふじて、山川氏の論文より、前述の諸點を拾ひあげることが出來たゞけで氏の辯護を忘れない用意と巧妙な臺詞のために、「左翼動揺」の過失の上に、霞を棚引かせてぼかしたかの憾みがある。

氏のみではない。組合評議會の擴大中央委員會の宣言の、書き出しには「凡そ無産階級運動の正しき戰術の基礎は、常に過去の經驗に對し峻嚴なる自己批判と綜合とを行ふと共に眼前の客觀的狀勢を精密に解剖し以て將來の戰術を確立することに存してゐる」とある。

もちろんさうである。しかるに社會思想三月號河西太一郎氏の時觀によると、

「この宣言だけを讀むと過去の政策、態度に少しも誤りのなかつたことを自信してゐるやうである。……討議の中では立派に此の失敗を認め、……私の所謂現實主義化を明かにしたと私は看取したのであつた」

河西氏が、いかに看取したかはともかく、討議に於ても、それは霞のなかに行はれた、いと濕やかな討議であつたことは爭はれない。

しからば、過失とは何にか。

一、山川氏も認められたる如く、「政治への傾向」に對する左翼の見解の誤りである。

「分化の作用は、無産政黨といふ單一な陣營の內部において行はれ、したがつてその作用は深刻となるにも拘らず、分化作用の結果が、直ちに團體の分裂、ないしは分立――したがつて無産階級の政治的戰線の分裂――となることを、大なる範圍まで避け得られる」といふ、政治的傾向に對するあまりに機械的な考察に原因する。以下、隨時さらに、此の機械的な考察の過りを正すであらふ。

二、「政治への傾向」に對する誤認は、「分化作用が豫期せられたよりも急激に進行した」事實にぶつかつたばかりでな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

く、左翼結成の飛躍的な進行によつて、右翼結成を助長し、山川氏の言葉を借りて云へば、政治的傾向――單一政黨への――が、或る程度に生長し、或る程度に固定するを待たず、從つて大衆的規模に於ての分化作用を不可能ならしめた。

氏によると、「日本勞働總同盟の分裂から、今日にいたる時期の特徴は、右翼の結成であつた」のである。しかし、同時に左翼の結成でもあつたのである。（結合の前の分離の原則の飛躍）左翼の結成は、左翼にとつては豫期の如く、これは飛躍的の進行をなした。

三、次ぎは、いはゆる技術的の失敗と云はれる點で、綱領委員會に於ける左翼の代表委員の言動、政治研究會の乘取りと見られたる行動、組合評議會の出店だと見られたる青年同盟の問題、理論的闘爭の方法の拙劣、等々、決して少なくない。

私は左翼の過失を斯くの如く見る。しかも、これらの問題は、なほ充分に討議されて居らない。――そのことは左翼進出の行動の上に重要な關聯を持つ――斯くてかゝる過失と、右翼分裂の危機に追突して、左翼は黨の組織過程より退却するの餘儀なきに到つた。

果して、退却の原因は、今日除去されたであらふか。

四、退却の原因は除去されぬ

斷じて除去されては居らない。否、危機は深められつゝある。

山川氏は云ふ。

「或る人々は云ふだらふ、單一政黨は、なほ形成の過程にある。右翼の分裂政策は依然として黨を脅やかしてゐるではないか。……左翼の退却をよぎなくした一切の事情と形勢とは――依然として存してゐるばかりか、却つて增大した

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

のではないか。たしかにその通りである。」

氏はさらに云ふ。

「たゞ其の間に、一つの條件に——しかも根本的の條件に——變化のあつたことを見落してはならぬ」

氏の云ふところの、變化のあつた、しかも根本的の一つの條件とは、「政治への傾向——單一無產政黨の岸に打ち上げる、打ち上げしめねばならぬ、この波は、單一無產政黨の確立からほんの少しばかりの手前で、すでに絕頂まで上りつめて波頭は崩落した。そして之は無意識的右翼結成を正式に告示したものである」これである。それ故に、左翼は自己を活かし、自己を擴充し、單一政黨の實現を妨げる右翼勢力と決定的に鬪つて、よくこれを克服すべく、氏は左翼の、積極的進出——左翼全線の總體的進出——を主張される。

こゝにも、氏の機械的な考察が窺はれる。

一、意識的な右翼結成の事實を、氏は一般的狀勢のなかゝら、殊更らに、大きく浮き出させて、豫期せざるものが、或る日、或る時、忽然として、形勢過程にある勞農黨の上に出現したかの如くに、氏の考察を基礎づけるのである。

もちろん、退却をつゞけて、眠つてゞも居たらしい左翼の陣營を、叱咤し、振起せしむる手段であるならば兎も角、右翼の結成は、氏も云はるゝ通り、「日本勞働總同盟の分裂から今日にいたる時期の特徵」でもあり、長い期間の發展過程を經過し、かくて「正式なる告示」ともなつたので、今さらの問題ではあるまい。

二、現在の勞農黨を、單一政黨確立のほんの少しばかりの手前で、すでに絕頂まで上りつめて波頭は崩落したと、現在勞農黨はなほ形成の過程にあり、氏のいはゆる轉換する分水嶺は、（その——黨——成立と或る程度に關る）相當期間の餘地を殘すに拘らず、形成過程の初期に於て除外されたとなると、直ちにどうにも他には方法のない絕望的な固定した黨の形態を描いて、絕望の極印を捺す。

左翼退却の原因は、なほ除去されては居ない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山川氏の云はるゝ、變化したる一つの條件も、實はとり立てゝ、左翼進出に對する決定的の基礎的條件とはならない。

五、總退却の失敗

しかるに山川氏は、左翼進出の時期到來とばかりに、先づ右翼指導者との鬪爭の必要を說いて「この意識的な右翼の勢力と決定的に鬪ふことなしには、單一政黨の實現は、絕對に不可能である」と力說される。すると、氏の見解に從へば、左翼はおとなしくお膝にお手々を置ひて、總退却の狀勢をまもつて居れば、單一政黨は右翼並に中間派勢力によつて、實現してくれるものと、氏は思考されてゐたらしい。爾く思考されたであらうか。遺憾ながら思考されたのである。

氏の力說さるゝ右翼指導者との鬪爭の如きは、「右翼結成の告示」が、今さらの問題でないやうに、之れ又今さらの問題では無い。

昨年の失敗の直後、右翼との理論的鬪爭に於ける、技術上の過りをたゞし、かくて勇敢に鬪はねばならなかつた。中間派の對策の如きも、少なくも右翼の影響から救出し、氏の云はるゝ、分量に於て壓倒的に大きな中央の流れに投じて、當然に鬪ふべき兩翼の性質と役割につき、明確ならざる意識を、明確ならしめる手段を執らねばならなかつた。斯くしてこそ、單一政黨の實現が可能である。なほ之れがために、左翼は、その全線に於て、爲さねばならぬ多くの任務があつた。この任務の遂行を、進出と云ふべくんば、左翼はとくに進出してゐなければならず、左翼陣營の全戰線の一點に於て、退却を餘儀なくされることはあつても、右翼結成の進行と右翼のやがて來るであらうところの一大展開を前に、單一政黨實現のために、其のためにこそ、左翼の全體的退却は斷じてあり得ない。あつてはならなかつた。

しかるに左翼は、黨の組織過程から――それは戰線の重要な一點ではある――退却すると同時に、新たなるいはゆる進出の戰術を樹てんともせず、勇敢に總退却を爲した。自からを殺し、自からを犧牲とせる偉大なる意義を持つところの、かゝる退却は、しかし乍ら他方に於て、單一政黨實現のためには大きな損傷を與へ、今や、氏の烽火により、叫ばれつゝ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある、左翼進出の、時ならぬ動揺めきは、左翼退却による、新たなる失敗の總勘定でなくて何んあらうか。

六、右翼脱退の對策

かような意味での進出ならば、左翼退却の原因が、除去されて居らないことは、大した問題とはならぬ。從つて、山川氏の如く、根本的條件の變化、をあらためて持ち出すこと、否とは大した問題とはならぬ。

續いて山川氏の論文を辿る。氏は、左翼當面の任務を決定するに先立ち、意識的右翼が當面いかに行動するかについて、二つの場合を豫測される。第一は脱黨しない、しないどころか、純右翼支部を組織して積極的の活動を始めると見る。第二は脱退によつて、黨を積極的に破壊すると見る。

氏の二つの豫測の第一は、當分といふ條件つきで全然間違ひではないにしても、樂觀に過ぎよう。（氏は當面の任務を論ずるにあたり、彼等は純右翼支部の急造に熱狂するとの見解を述べてゐる）右翼はおそらく第二の脱退を、意圖してゐるであらう。

山川氏のやうに、「黨内の組織運動が思はしくゆかないか、それとも他の事情で形勢が思ふがまゝに展開せぬ場合」、彼等は脱退を企るのではなく、意識的に脱退を意圖しつゝあると信ずべき理由は多分にある。いづれにてもあれ、山川氏は右翼の脱退を豫測し、かつてありし左翼脱退の理由がますく深かめられたことを自認される。

かつ、左翼が脱退を決行する條件として、氏は次ぎの四項を指摘される。一、中間派の態度、二、黨外の右翼的組合の態度、三、農民黨、民衆黨の成果、四、官憲の意嚮。このうち二は暫らく置く。三は黨がいかに未組織大衆を獲得するかによつてきまる。――が、大體は總選擧前後には、相當に右翼的獨立政黨は展びるものと見なければならぬ――しかるに、中間派に對する態度、――特に日本農民組合に對しては、愼重なる考慮を要する。しかるに氏は考慮の片隅にでも置いてゐるや否やさへ疑はれる――官憲の意嚮――官憲と協力する右翼指導者と右翼大衆、中間派の一部脱退が黨の上に何

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

にをもたらすかは、過去の經驗が敎ねてゐる——右翼脱退の重要な條件であり、氏もこれを承認しながら、次ぎの左翼當面の任務を決定するにあたり、何等の考慮が拂はれて居らない。何故であるか。氏は單一無産政黨を放棄されたのであらふか。否、決してさうではない。山川氏によれば、左翼の退却も進出も、ひとゑに單一政黨の絶對的必要の爲めになされる。繰り返へして云ふ。大衆的規模による分化の爲めに、氏によれば、又私によるも、左翼のために、單一政黨の實現は絶對的必要である。

然るに、右翼脱退の危險を確認するに拘らず、氏は右翼を取りいれ、脱退を防ぐこころみの、何等對案を示さない。山川氏の、左翼當面の任務——いはゆる進出——任務遂行の手段、進出の方法に關する、重大なる缺陷は即ちこゝにある。

七、氏の堂々たる進出論

山川氏は、氏が述べられたやうに、形勢の必然の結論として、左翼當面の任務——進出——十二項目をあげられる。これを要約すると、「地方的の活動が下から生長し、これが中央に統一」せらるゝやうに、黨の内外に於ける地方的の組織と活動に、全線の力を進出せしむるにある。

斯く要約されたる當面の任務、任務の大綱、これだけのことなら、勞農黨組織の翌日より、左翼にとつては、當面の任務でなければならなかつた。氏によれば地方的の組織と活動は、いかにして行はれんとするか。左翼退却の理由が、深かめられ、左翼過失の原因が、霞のなかに、いこしめやかに討議された、——技術的失敗の多かつたことは注意を要する——現下の狀勢に於ては、當面の方針を行動に移し、任務の遂行をなす、いかにして行はれんとするかは、蓋し重要な問題でなければならぬ。

如何にして行はれんとするか。山川氏は云ふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、組織さるべき地方的支部の性質は、左翼分子と中間派の健全分子によつて、即時に組織され、あらゆる要素を包容したる單一政黨の性質をそなへたものであり、從つて右翼大衆をも取りいれる。右翼大衆の參加不可能なる場合には、これらの要素を除く。

二、かゝる地方支部の活動は、1. 準無産者の獲得、2. 地方的政治——選擧の準備をも爲す——、3. 支部承認運動、4. 右翼大衆と中間的分子の說得、5. 支部聯合又は事實上の緊密な聯絡をはかるに在る。

三、即時支部組織不可能の地方は、準備團體を組織する。

四、横斷的組織——黨支部、勞働組合、無産者團體協議會——による「單一無産政黨擁護」運動の開始。

かくして山川氏の、當面の任務は遂行され、「遠慮」の態度を一變し、（黨内の左翼分子に最大限度の活動を、氏は要求される）威武堂々と黨内へ割り込む。否、割り込むなどゝいふケチな態度でなく、右翼又は遺憾乍ら事實上には右翼を支持したる中間派に取つてかはり、左翼分子の手に——但し幹部は黨の幹部たることをなるべく辭退せよと、評議會は云ふ——黨の指導權を把握すべき方針をもつて遂行される。

八、遁れる進出の態度

諸君が見らるゝとほり、山川氏の當面の任務によれば、右翼脫退——その條件——かくて現下の一般的狀勢に對し、少しも考慮が拂はれて居らない。

私は昨年の農勞黨失敗の記憶を想起する。——右翼結成、急激なる進行の助長、それによる分裂の危機——を豫想せず、ひたすら左翼結成に邁進したる、其れは單一政黨の實現を、眞實に希求するや否やを疑はしめたる、慘ましき、しかし、尊い記憶を呼び覺さゞるを得ない。かくてこの追憶は、昨年とはさしたるかはり無い狀勢のなかに——山川氏の自認されるであらうところの左翼退却の原因が深められたる——右翼脫退——中間派の多少を伴ふ——の危機には、眼を閉じ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、ひたすら左翼進出——氏のいはゆる進出——の出陣を壯ならしめんとする。其れは單一政黨の實現を、眞實に希求するや否やを疑はしめる、いたましき現狀に想到せざるを得ない。眼かくしされた馬車馬が、狂ひ出したとせよ。誰れか、勞農黨破壞の立て札にぶつからぬと保證し得られやうぞ。

一、山川氏によれば、地方的の組織は、現在の黨に、承認されやうと、されまいと問題ではない。承認運動のための——そればかりではないが——組織である。或る特殊の地方又は技術的に巧妙さを以て組織されたる現在の支部が、承認され又はされんとしてゐる、といふが如き承認の手段によらず、左翼分子又は中間派との公然の結合によつて、公然と承認させやうと云ふのだから、黨の除外決議の手前、承認されさうに無いが、氏によれば其れで宜しいのである。

二、いかなる組織方法によるも承認が困難であるか、又は中間派支部に加盟が出來ないならば、左翼團體に屬するものは、未組織分子を押し出して、その下に一個の準備團體を形成し、山川氏の如く、敢て黨支部と潛稱することを避け、黨とはかたちの上に於て、區別を爲さねばならぬ。かゝることが當面ゆるされるは、未組織大衆獲得——右翼指導者との最大の鬪爭手段——の必要にある。

三、黨支部を捲き込んだところの、無產者團體、同協議會、組合との、全國的横斷組織の「擁護同盟」は、實は黨の指導權を掌握するまでの、黨外臨時中央委員會と見なされて、右翼に有利なる口實の條件を提出する恐れがある。

四、黨內の左翼分子に對する、最大限度の積極的活動の要求は、左翼分子除外の理由を、右翼に與へる。それが左翼にとつて重要なのは、右翼の口實が、中間派に承認されることとの危險である。

五、支部(又は準備會)の活動にあたり、中央においては、(實は地方に於ても)組合の政治委員會、組合の出店くらひに考へる組合主義的見解を捨てゝ(こゝに山川氏近來の發展を見る)準無產者の獲得を說き、地方的政治運動——就中選舉對策——右翼大衆に對する親切周到(こゝに山川氏の周到なる用意を見る)を教はられてゐるが、黨本部の存在を、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

椅子テーブル若干以上に認めて、(こゝに三輪書記長並に現中央委員追放説の根據がある)左翼に、實際には好意を寄せる黨中央委員の事業に援助し協力し、——黨費の納入其他——すゝんで妨害となることを避けて、本部を活動的ならしめ、より良い活動に導くことが必要である。

椅子テーブル若干が、全部であるところの本部に向つて、支部承認の要求、請願運動の要求、要求だけは、紙つぶての如く投げつけられてゐる。

六、請願運動の實行方法として、黨本部に要求するとの名目を以て黨支部を包括したる黨外の全國的機關の設置が提唱され、すでに實行されんとしてゐる。——このことは山川氏の論文外になる——かゝる事は、黨大會の議決を要する。しかるに黨本部が請願運動を拒絶したる場合には、「その地方實行委員會(黨支部、準備會、協議會、組合その他)、直ちに全國的實行委員會に結合し、全國的の統一指導に任ずる」計畫が、組合評議會中央委員會にて承認された。

椅子とテーブル若干の本部にも、黨大會にかはつて、請願運動ならば拒絶し、許可する力があるらしく、しかも支部承認は、本部に求めず大會までこの問題に觸れざること(但し關東地方合同大會で大會までとあるを削除さる)など本部を弄ぶも甚しいではないか。それはともかく、吾々は吾々が持つところの組織と、組織内の秩序とを信ずる。組織を破壞する必要があるか、破壞するおそれが無いか。どちらにしてもよく/\の場合でなければ、組織の埒外に、既存の組織を脅やかすところの行動は、つゝしまねばならない。とりわけ黨外の機關の行動には、この際であるだけに、一層の愼しみを必要とする。しかして此のことは、支部として承認せられざる、今後組織されるところの「準備團體」の、行動の上に、必要なことがらであり、山川氏の失念されたる注意でなければならぬ。

九、中間派結成の問題

現下の狀勢は、左翼當面の一般的任務、山川氏の進出論に、先づかくの如き注意と變更を要求する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

以上の諸形勢は、左翼當面のこれらの一般的任務のうちに、必然の結論として、中間派結成の重要さが提出される。「少なくも左翼は、急速に結成する右翼を中立的な要素から孤立せしめることに失敗した」。と、「忌彈なく云へば、この努力はほとんど左翼に缺けてゐた」と、過去の過失を自認される山川氏。

「勞農黨内部における中間派、即ち意識的右翼か、どれだけの團體を率ひて脫退するか」に、右翼脫退——單一政黨の危機——の條件を發見されたる山川氏。

しかして、眞實に單一政黨の實現を期せらるゝ氏は、しかるに、意識的右翼指導者に率ひらるゝ右翼大衆に對し、親切と力強い說得をすゝめられた、刷毛のつひでを以て、中間的の分子とに、眞實に說得すべく、愼重にかつ有效に、指導者の裏切り事實の暴露を說得される。これが氏の中間派對策である。

かつて或る團體の會合に於て、中間派結成が問題となつたところ、左翼の智識的指導者の一人は、昂然として、「中間派は戰ひ取るべきのみ」と答へて、稚氣愛すべきを知らしめたが、「中間派結成の傾向」對策の必要を、一とつの條件として開催された、組合評議會關東地方合同大會に於ては、中間派に關する本質、派生の客觀的條件等、が議せられ、(中間派派生の原因の二つのうち、一づは左翼が方策を怠つたからであることが認められたとのことである) かゝる觀念と傾向に對する闘爭の必要が決議されたが、いかに闘爭すべきか、「中間派を、いかに戰ひ取るべきか」の方策を示さなかつた。即ち死論を弄ぶのみ。しかるに「大衆」九月號に於て、浦田武雄氏は、一個の中間派對策を提出した。氏の云ふところによれば、意を盡さゞるの結果、中間派を中間派のまゝ、助成、發展せしむるかの如くにも見ゐるが、もちろんさうではなからふ。

氏によれば、先づ中間派所屬の左翼分子に、「一定の條件の下に或る組織をもち、一定の政策方針を以て進ましめる」嚴密にいふならば、中間派團體所屬の左翼分子の結合による委員會をつくることにある。それは中間派結合の前提條件としての、左翼分派の結成である。

一〇、何故に結成すべきか

一、單一政黨の形成過程——山川氏のいはゆる「少なくも大衆的規模に於て分化が行はれるためには——黨が或る程度

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に生長し成る程度に固定する」――に於て、意識的右翼の派生、左翼退却の理由が深められたるとき、いはゆる中間派は、單一政黨實現のために、過渡的の存在として、重要な役割を持つ。彼等の結成は、かゝる役割――山川氏の絶對必要とする單一政黨――の遂行を强める。何故なら中間派の狀勢よりすれば、結合されてゐたなら、左翼團體除外などは起らなかつたのである。少なくも現在の中間派の本質から云つてもさうであり、左翼支持の諸傾向から見てもさうである。これによつてより多く利益するものは左翼であり、より多く不利を來すものは右翼しある。

二、かゝる中間派の過渡的任務、任務の重要さは、組合總聯合に對しても同じことが云へよう。總聯合に對する、左翼組合の要望しかして之を必要ならしめる客觀的狀勢に裏切つて、實際の諸形勢は、好ましからぬ傾向にと、急激に進行しつゝある。

總聯合の必要は絶對である、――宣傳の道具建ではあるまい――之を、實際的に可能ならしめる手段は、中間派の結成――總聯合を一とつの指標とする結合――之れをとをしての總聯合である。

三、左翼にとつて、當面の重要な任務は、右翼指導者との鬪爭である。この鬪爭のもたらすところは、右翼指導者を、大衆から切り離すことであつて、中間派の結成は、右翼の影響から獨立せしめ、右翼指導者から――分量に於ては、壓倒的に大きな中央の流れ――これら大衆を完全に切り取ることが出來る。

況んや、右翼の一大展開――その條件の成熟――をなさんとするにあたり、未組織獲得と共に、右翼指導者との當面の重要なる鬪爭手段でなければならぬ。

四、中間派が今日のまゝであるならば、彼等は右翼へ引き寄せられる。全體的にか――官業勞働其他を見よ――部分的にか――市電自治會を見よ、農民組合を見よ――右翼への危險は最も大きい。かゝるとき、親切と力强い說得に手綱り、積極的の策を持たず、いはんや山川氏の進出的態度をもつて、中間派大衆にのぞむに於ては、彼等を驅つて右翼指導者の掌中に追ひ込むにひとしく、今日中間派のなかに、左翼的中間派（不適當な用語ではあるが、假りに左翼の意見を、當面支持したる中間派團體を指す）が、相當にはあるからと云つて、いつ右翼へ寢返へるやも知れぬ。寢返るところにこそ、中間派の特質がある。

五、浦田氏の指摘する如く、中間派のなかには、左翼的分子が多數に分散されてある。分散されたまゝの彼等の多く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、一個の中間派分子たるに過ぎないが、中間派結合のもとに、彼等もまた一とつの組織體のなかに、密着したる一勢力、それは左翼分子としての、力を形成する。

六、やがて左翼諸團體を、中間派との――田所氏の云ふところの――結合に導く。導かねばならぬ。導くところの、努力が爲されるであらふ。

七、捲き起つたところの中間派結成の欲求は、左翼が好むと好まざるに拘らずともかく結成を成し遂ぐるであらふ。しからば之をいかにして獲得すべきか。左翼はかくて遂ひに戰術の修正を迫られるであらふ。

二、反對意見の誤謬

中間派結成に對する、反對の烽火は、左翼陣營内にて、先づ組合評議會關東地方合同大會によつてあげられた。

中間派運動派生の理由を、「個人的野心滿足の陰謀」に、からませた意見も、飛び出したさうなが、「ボリセヴ井キ運動を、ユダヤ人の陰謀」に結ばせたところの、ブルジョアのお手並みに似て愛嬌がある。が、かゝることは、僕らにとつては問題とならぬ。

こゝに問題とすべきは、大會の討議にのぼつた、眞面目なる反對意見を採つて之れが檢討を爲すにある。

反對意見としての有方なる條項。

一、中間派獲得のために、左翼全體を中間派にくだらしめんとする。即ち中間派の立場に立たねば、中間派結成は成らぬ。

二、右翼の勢力を過大に評價する。

三、左右兩翼を、理解しないで、徒らに之れを合一せんとする。

四、右翼に利用され右翼に發展する危險がある。

五、左右兩翼のなかに、力を伸ばさんとする、かくて、中間派意識を派生せしめ、助長せしむる。

以下、簡畧に批判するであらふ。

一、中間派の立場に立たねば、中間派運動が出來ないと云ふものは、左翼戰術のA・B・Cから始めざる可からず、民主々義の立場に立たねば、民主々義運動(評議會聲明書)は出來ないとでも云ふのか。ブルジョアの機關のなかにも、右

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

翼のなかにも、中間派のなかにも、無產階級の立場に立つところの運動はある。

これを以て、「左翼全體を、中間派に下だらしめる」との見解は、そもく聞くものをして耳を疑はしめる。

二、右翼の勢力を、過少に見てはならぬ。左翼の失敗は、かゝる認識の不確さにあつた。（このことは、私の論文の、全體がよく說明してゐる）

三、結成さるべき中間派は、左右兩翼を理解しないで、これを合一せんとするものであるとの理由で述べられたこの意見の提出者は、問題の傾向、發展を、理解しない。結成されたる中間派意識は、右の提出者の意見とは、全く別の方向にすゝむの危險をはらむ。

四、右翼に利用されて、右翼に發展する危險があるとすれば、左翼に利用されて左翼に發展する危險――中間派意識に結成されたものにとつては――さへある。吾々の觀察は、多面的でなければならぬ。

五、問題はこゝに在る。

1.左右兩翼の、中間はあり得ない、といふ正しい理論を吾々は持つ。過渡的存在としての、中間派結成が、發展しない固定したものでは、いつまでもあり得ない。2.結成過程に――浦田氏のいふ中間派左翼分子――或は左翼的中間派――の結合――或は、產業の性質上本質的に右翼であるところの組合――例へば俸給者の如きは除外する――或は、中間派といふ、意識の派生をなるべく防ぐところの、用語を避けて、當面の鬪爭題目による結合――それら、及び其他の技術的努力が爲されるであらふ。3.危險を恐れてはならない。危險を認識し、せしむることによつて、危險は薄らぐ。そのための理論的鬪爭は行はれるであらふ。4.これらの對策乂は努力を無視し、しかして、中間派の結成力を過少に踏み乍ら、據つておこるところの危險を、過大に見積る、見積ることはよいが、之れによつて反對を爲すは、いはゆる正直なる左翼の、爲さゞるところである。

一般的諸形勢のうちより、かくてこれら左翼當面の任務は決定される。

この鬪爭によつてのみ、この鬪爭を通じてのみ、この鬪爭の過程のうちにのみ、左翼は大衆的規模の上に發展し結成される。かくて日本の無產階級は、支配階級の協力者の分裂政策を克服し、勞農黨のもとに單一な政治戰線に結合することが出來るであらふ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

統一運動に對する中間團體の任務

稻村隆一

農民組合の指導者は日和見にあらず

勞農黨、總聯合の問題を中心として日本の無産階級運動は非常なる混亂に陥らんとしてゐる。

聞く所によれば、左翼勞働組合の一部には、中間團體は之右翼の味方であるが故に、中間團體の存在を拒否しなくてはならぬ。全無産階級的の共同戰線のためにあく迄戰ひ得るものは眞に左翼のみである。今日中間派の存在は許すべきではない。公然たる左翼の結成によつて、右翼と戰ふ可きであると。

この見解は左翼としては正しい見解である。然し乍らこの事は餘程巧妙なる技術を要するのである。うつかりすれば右翼の戰術の思ふつぼにはまる。

現に最近の民衆新聞の如きはマルクス主義に於ける西雅雄氏の中間派社會思想の攻擊論を正當なりとして、全無産階級的運動の劃然たる左右兩翼分裂を煽つてゐる。素より左翼は何れともつかない中間派の指導者を理論的に攻擊し、或は說伏するのは善い事であらう。然し乍らその攻擊の仕方說伏の仕方が拙劣であれば中間團體の或者は反動化し、右翼の陣營に投じ、左翼は救ふ可からざる孤立に陥る。而して右翼は常に左翼の拙劣なる戰術を逆用して中間派を完全に右翼化せしめ様とする。故にこの際左翼は自重し、如何なる難局に當面しても焦慮する事なく、中間團體に對する認識を誤つてはな

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

らぬ。しかし乍ら私は今左翼の一部には中間派に對する認識を誤つてゐるものがあり同時に之に對する戰術を誤つてゐると思ふが故に、その點を簡單に述べて見度いと思ふ。

第一は今左翼には農民組合の指導者を中間派否右翼の無意識的共同者にして頼むに足らずとなしてゐるものがある。現に我々は或左翼指導者より我々が一定の方針も理論もなき中間的――否右翼――的日和見主義であるとの批難を受けた。

(私個人のみならず農民組合の指導者の大部分が)

けれども我々はこの批難は當らない事を證明し得る。我々に對して日和見の言葉を浴せかける事は勝手ではあるが、農民組合の指導者全體を中間派――日和見――で終始し、救ふ可からざるものであると云ふ認識の下に立ち農民組合に對する政策を樹立するならば左翼は政治研究會に於ける失敗の如き、否より以上の、再び恢復し得ざる失敗を犯すに至るであらう。

何故なれば農民組合の從來の指導者等は決して、中間的――日和見の立場になかつた事を事實は證明してゐる。農民大衆が如何なる性質のものであるか? それは都市プロレタリアートと比較して、反動、保守、封建的であり、軍國主義、資本主義が最後の據り所であることは誰人も知つてゐることである。

現に農民組合の中に於てさへレーニンの所謂「ごつち付かずに動搖してゐる階級であり、一方に於ては有產者であり、他方に於ては勞働者であり、永い間地主と資本家に搾取されつゝ、それにも關らず田や畑を多少持つ有產者である」この中農階級が五割以上を占めてゐるのである。新潟の如き階級對立の明確なる地方すら自作兼小作が非常に多い。他縣の多くは統計を取つて見れば直ちにわかることであるが、自作兼小作が大部分であつて、その指導者は自作農が多い。又我が國の農家總戶數約五百五十萬戶の中、自作三割一分自作兼小作四割、小農に屬する小作は僅かに二割九分である。

そしてこの中農を多く包含せる農民組合は仲々都市プロレタリアと提携しない。(今日尙農民黨の標語を喜ぶ)それはエ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ンゲルス、レーニンの云ふが如くごつちつかずの動搖せる集團である。もしも日和見主義的指導者であるならば農民が反動的保守的であるの故を以つて、農民の保守、反動、中間的態度に追隨したであらう（須貝快夫、平野力三の如く）然し乍ら農民組合の多くの指導者等はこの農民の保守、反動に追隨せず、異常なる努力を以つて都市プロレタリアートと協力せしめ、單一無產政黨の爲に農民組合を主唱者の地位に迄引きつけた。又少しも恐るゝ事なく支配階級の分裂政策を防止した。社會主義は（都市プロンタリアは）農民階級に對しては少なくとも先づ中立の位地に立たしめなければならない。尚出來得べくんば彼等を漸次その味方に引き入れなければならぬ（レーニン）のであるが、農民組合の指導者は農民組合を中立より更に進んで都市プロレタリアと協力せしめたのである。

たゞ左翼の批難の如く黨の第三回中央委員會に於ける農民組合出身の中央委員が讓步したのは確かに過失であつたであらう。しかし乍らそれは鈴木茂三郎氏の大衆九月號で述べてるが如く

（1）右翼の要求を滿足させたならば（團體排除の程度にまで）右翼は從來のサボタージュをやめて右翼大衆を率いて積極的に出るであらう。

（2）農民組合の內部又は外部より行はれる右翼農民の策動に對する牽制上の必要

（3）黨の內外に於ける右翼攻勢力の結成と右翼脫退の危險（大衆九月號八頁）等を考慮したからであつた。之は鈴木氏も云ふが如くかゝる考察は確かに間違つてゐた。

しかし乍らこの過失は戰術上の過失であつて決して、農民組合の幹部が中間派的思想――右翼的思想――右翼に墮落せるが爲ではない。又その過失は救ふ可からざる過失ではない。――如何にしてこの過失を救ふかは後章の問題として――過失は何人も犯す、過失を犯さゞるものは何もやらないものである。勿論その過失は反省しなくてはならない。過失を責めるに急にして門戶閉鎖の責任を全然農民組合指導者にあるが如く詰るのは間違つてゐる。

過去に於ては勿論の事、現在に於てさへ農民組合の指導者はこの保守的な農民を率ひて中立より一步前進し、左翼を消

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

極的に支持して來たのである。（左翼支持と云ふよりも全無産階級結合のため）それだのに黨第三回中央委員會に於ける過失――それは重大なる過失であつたらうが――を以つて右翼を永久に支持せる裏切り行爲であると早合點することは淺慮の極みである。否却つて左翼は何故に黨第三回中央委員會の前に今少し積極的に出でゝ科學的に精細に運動の成行きを觀察し、警戒し、農民組合及中間派組合指導者をして過失無からしめる樣努力しなかつたのか？左翼の統一が第一である。

黨は救はれる

しかし乍ら黨の第三回中央委員會に於ける門戸閉鎖によつて左翼勞働組合は非常な打擊を受けた。だから左翼勞働組合としては門戸解放の運動を開始するのは當然の事であらう。又その運動の過程に於て、中間組合に對し、いろ／＼の批評を加へる事もあるであらう。しかし乍ら中間團體は最初より左右兩翼の統一を目的とせるものなるが故に、左翼勞働組合より如何なる批評を受けても、そのために反動化する事なく、單一無産政黨成立のため最後まで奔走すべきである。

そして現在の狀勢に於ては議會も八九分通り解散であらうし、勞農黨は第一回の普通選擧に當面してゐるので少なくとも議會前にその準備が必要である。そこで如何なる事情があつても大會を來年迄伸ばすなどゝ云ふ事が出來ないにきまつてゐる。そこで我々はこの際普選と議會解散を前にして、ブルジョア政黨との抗爭を前にして、全無産階級統一の立場から、飽く迄も現在の支部を承認せしめなければならない。又どしどし支部を急速に組織しなければならぬ。だから我々はこの際急速に議會前に大會を開き現在の支部を承認せしめ、普通選擧を前にして、全無産階級的の力を集中すべく門戸解放を行はしむ可きである。門戸解放の叫びは何人の御厄介でもなく、多くの農民組合の聯合會の要求する所であるから黨第三回中央委員會の過失として必要の前には、運動の方法如何によつては黨の大會に於て門戸は解放され、もし農民組合が門戸解放を主張し破れたならば之は已むを得ない事である。たゞ如何なる事があつても勞農黨を破壞しない事である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民組合は今後如何にして進む可きであるか？

要するに今や單一無産政黨を中心として勞農黨が危機に瀕せる事は明かである。もしこゝに單一無産政黨が崩壞したならば、都市プロレタリアと農民との協同戰線が不可能であると云ふが如き觀念を一般農民大衆に與へ全日本同盟の別動隊、日本農民黨の發展に便宜を與へることになる。農民組合は耕作權確立等、今や小作爭議でさい地方的、局部的の色彩を離れて、全局面の運動――即ち全國政治運動化してゐる（木崎事件の如く）――その他稅制の問題と云へ農民の經濟問題は直ちに政治鬪爭に進化すべき性質を持つてゐる。

もし農民組合が政治的に中立するならば、農民組合は崩壞するか、もしくは日本農民黨などゝ稱するブルジョア政黨に走るかの何れかである。兎に角農民組合は政治的に絕對に中立であり得ない。

故に農民組合は如何なる犧牲を拂ふとも黨を成立させなければならぬ。

そこで農民組合は支配階級の黨分裂政策を防止するため、今勞農黨に入つてゐる中間勞働組合を結束して、全無産階級を包含する單一政黨のために戰はしむ可きである。

即ち門戶解放に努力すべきである。それに破れたならば、それは努力して破れたのであるから、破れたと云つて決して勞農黨を脫退してはならぬ。そのまゝ勞農黨を成立せしむ可きである。又その反對に農民組合が門戶解放を主張した爲に右翼組合の脫退となつた場合は、可能な範圍に於て勞農黨を組織する事、萬一それも不可能の場合は單獨にしても政黨を組織することである。

かく政黨成立のために、農民組合が出來るだけ奮鬪することによつて、全無產階級の協同戰線も可能であり、農民組合自體の分裂も免れるのである。

附記　又木崎爭議が再び惡化したので木崎爭議の暴力團糾彈演說會の中に書いたものであります讀者諸君は幾多の誤謬は諒とされたい。（十九日木崎にて）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

市電自治會の分裂政策と その反對運動

島上善五郎

資本の積極的攻勢を前にして我が無產階級戰線は飽くなき分裂政策の魔手に襲はれてゐる。勞働農民黨に於ける左翼排除と朦朧無產政黨の續出、日本農民組合に對する分裂政策、市電自治會の分裂政策等々。少くとも無產階級運動に關心を持つものゝ默過し能はざるところである。市電自治會の分裂政策に就いては目新しき問題として大方の注視の的とされてゐる。これは單なる市電自治會のみの問題にあらずして、全日本の無產階級運動の問題として見る可きである。

(一) 本部費々消事件と所謂「共產派」の發生

問題の原因を詳かにする爲には、相當遠因に迄遡らなければならぬ。自治會に於ける內紛はかなり永きに亘つてゐる。それはかの本部費々消事件以後からである。大正十三年末より十四年春にかけて、自治會本部會計には勞働組合として見るべからざる醜行が演ぜられた。

かの安全デー當時より第二回大道局長排斥運動に際し、當時會計係たる佐野左江君、執行委員長宮井昌吉君、執行委員伊藤誠君は秘密本部の要ありとして

他の執行委員、中央委員を除外して、頻りに待合、料理店に入りびたつて、酒池肉林の中に宛然待合政治を氣どつてゐた。彼等の待合政治氣ごりはいよ〳〵昂じて、遂に數千圓の本部費は湯水の如く費消し盡された。本部費々消事件は我々の知るところとなり、不眠不休の調査の結果問題は白日の下に曝露された。しかして同年三月宮井、伊藤、佐野の三君は幹部の席を退かされたのである。

本來ならばこの三君は無産階級運動の戰線から永久に葬り去らるべきであつたかも知れぬが、當時大道局長排斥運動中であり、多少とも組合の動搖を避けねばならぬことと、彼等三名の將來を思ひ、充分に反省することを期待して、一般組合員には問題の一端を知らしめたるのみにて、彼等に幹部を辭させるだけに止めた。

しかるにその後一般中央委員の好意的期待は全く裏切られた。彼等は一ヶ月とたゝぬに又々幹部たらんとする野望を抱き、頻りと暗中策動を開始した。これが表面上の問題となり中央委員會に彼等を交通總聯盟の常任委員に祭り上げようの議が出された。勿論これは絕對多數の反對の爲に葬られた。しかるに彼等は共濟組合常務委員たらんと策謀して、遂に、自治會中央委員會の決定を裏切つて、伊藤、宮井の二君が共濟組合常務委員の椅子を獨占したのである。當時心ある者は皆彼等の不謹愼なる策動に反對した。しかるに彼等はその頃より彼等に反對する正義の士に「共產派」なる逆宣傳を以つて酬いた。堂々と階級鬪爭を否定する某幹部の如きも、彼等に反對したお蔭で共產派の首魁と言ふ尊稱を頂いた。

自治會に於ける「共產派」はかくして發生したのである。

（二） 醜類と右翼野心家との結托

當時より自治會には總同盟と二重組合籍を有する幹部及び會員が居つた。彼等は工場支部に根を下し、自治會を最右翼化さんとして、その機々睨つてゐた。

宮井君、伊藤君等が再び幹部たらんとする策謀はいよ〳〵悪辣を極めて來た。從つて彼等に反對する正義派との對立も益々露骨となつた。自治會を最右翼化さんとして虎視眈々たる野心家共は機を見るに敏である。正義派と醜類の對立露骨となるや彼等は醜類一派を支持した。醜類共も己れ等の地位挽回の爲に彼等と完全に結托したのである。自治會が工場聯合會と合同し、更に車庫聯盟と合同し、電力、軌道等を組織

化するに及んで彼等は保守的な新中央委員の殆んどを自己藥籠中のものとした。彼等の勢力が次第に挽回すると共に「共產派」云々の宣傳も正比例して猛烈となつた。これは亦同時に彼等の自治會右翼化の策動を物語るものである。

(三) 自治會右翼化の積極的策動

元來市電自治會は中間派組合たることを根本的立場としてゐる。自治會が嚴正なる中間派組合として、日本の無產階級運動の統一、協同戰線の結成に盡力し來つたことは自他共に認むるところである。

關東勞働組合會議の成立過程及びその後に於ける自治會の努力、國際勞働代表選出に關する大正十四年度の選擧權の棄權及び今年の全國協議會の成立に對する自治會の努力等は自治會の中間派組合としての立場を如實に表明するものである。又第一次農民勞働黨の組織過程に於ける自治會の態度も明かにさうであつた。

自治會を右翼化さうとして機會を覗つてゐた彼等は、彼等の勢力が次第に增大するにつれて、積極的行動をとるやふになつた。

その最初の表れとも見るべきものは、かの第一次農民勞働黨の結黨式當日である。

第一次農民勞働黨は結黨前に總同盟及び評議會の左右二大組合の脫退となり、大體に於いて中間派組合のみによつて結黨するの運びになつた。しかるに中間派組合を以つて自他共に許してゐた自治會が結黨式々場に於いて、突如結黨延期を提案したのである。この結黨延期は決して單なる結黨延期でなく、大きな根膽があつたことは明かである。しかも彼等の背後に某右翼組合の有力者が動いてゐたと言ふことである。

國際勞働代表選出全國協議會に於いても亦彼等の策謀が歷然としてゐる。協議會の議場に於いて自治會の瀧田君が議長となり、一人の異議もなく全國協議會とすることを決定し、議事に入り、代表及び顧問、隨行の人選を詮衡し終つたとき突如自治會の代表者が起て、その詮衡に反對し、棄權說を主張した。その理由とするところは「總同盟が參加して居らぬから、人選をすることによつて總同盟と對立の形になると言ふことであつた。この協議會の主唱組合たる自治會がかゝる裏切行爲をとるに至つたことも、右翼針心家の積極的策動に外ならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

更に又七月二十日大阪に開かれたる全國勞働組合會議準備協議會に於ける自治會の態度である。關東勞働組合會議の熱心なる主唱者であり、同時に全國勞働組合會議の熱心なる提唱者であつた自治會はあの大阪の協議會には最も消極的態度をとり、却つて全國組合會議に反對した總同盟西尾末廣氏の態度を讃美し、或ひは迎合してゐたではないか。かくして彼等の自治會右翼化の策謀は計畫的にしかして積極的になつて來た。

（四） 正義派除名の陰謀

彼等右翼幹部は「自治會はもはや從來の中間派組合の態度を棄てゝ右翼組合に轉換しなければならぬ」と公言してゐた。自治會が右翼組合に轉換するには、そこに一つの大きな邪魔物がある。それは即ち飽くまで自治會本來の中間派の立場を嚴守する分子である。この分子に共產黨の名を冠し放逐する爲に行はれたのが今回の除名政策なのだ。

彼等が聲明してゐる除名の理由は、自動車五支部に對しては本部費滞納を以つてし、個人に對しては共產黨一味で自治會の統制を紊亂したからだと言ふ。

果して然らば彼等が言ふ理由が除名理由として正當か否か。自動車五支部の本部費滞納に就いては自動車よりもむしろ本部側に大きな責任がある。本部に往年會計の醜問題が起つて以來、一般組合員は熱心に本部財政方針の確立を要望し、毎度の大會には議案として「本部財政々策確立の件」が提案され可決確定してゐるのである。又會則の上にも會計に關して「會計は會計處務規定によつて取扱ふこと」「會計報告は翌月中に必ず行ふこと」「毎期豫算を編成し、中央委員會の協賛を經ること」の個條が付け加へられた。しかるにこの一般組合員の輿論たる大會の決定事項、會則の規定事項は本部によつて一顧だも與へられなかつた。會計處務規定は未だもつて制定されず、豫算も本部員改選後ほんの形式的に編成されたのみで、それは一つの反古に化した。會計報告の如きも毎月どころか一年に二回か三回極めて莫然となされたのみである。本部はこれに對して多忙であつて實行出來なかつたと辯明してゐるが、自治會は果して二年も三年もそんなに多忙であつたであらふか。自動車部は本年一月部會の決議として、「會計處務規定の制定」「會計報告の確實」を本部に提出した。これは中央委員會に於いて、本部側から「實行しません」と輕

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

く受け流されたのみでその後何等實行されてゐない、本來六月の大會に於いても本部會計報告が審査委員によつて審査された結果不承認されたので、やむなく大會直後の中央委員會に於いて詳細の報告をなし、承認せしむる方法を講ずることになつた。又同じ大會に於いて「本部財政々策確立促進の件」が提出され、大會直後の中央委員會に具體的實行方法を一任して可決確定したのである。しかるに大會後五回の中央委員會を開き乍ら、これ等の事柄には一顧だに與へられてゐない。自動車部は本部に決議を以つて警告し、尙顧みらるゝところがなかつたので遂に「本部に、會計に關して、大會の決定、會則に規定されてゐる事項を實行するよふ反省を促す爲、當分本部費を支部にて保管する」ことにした。そして「本部が我々の希望を容れるならば何時にても耳を揃へて納入するものである」と言つてゐる。

しかるに本部に於いては何等自己の非行を反省するところなく、却つて自動車部に對して、組合の統制を紊亂するとの名目に依つて一擧にして除名處分にしたのである。個人除名に對しては「共產黨一味であり、自治會を乘取らふとしてゐるから危險である」と言つてゐるが、これは要するに彼等が幹部の椅子に永久にカヂリついてゐる爲と、自治會を右翼組合に墮落させる陰謀の手段として用ひた逆宣傳に外ならぬ。

彼等が言ふ「共產黨」とはどんな內容を持つものかと言へば「青年運動を主張した」とか「第一次農民勞働黨結黨式に於いて結黨延期の提案に反對の意志表示をした」とか或ひは「各支部に於いて研究會をやつてゐる」「全國組合會議の促進を主張した」「勞働農民黨の合同支部說を主張した」と言つたやふなことである。更に滑稽千萬なことは「會計問題を八釜しく言ふことは共產黨一派の戰術で、佐野學が「マルクス主義」の昨年の十二月號に書いてゐる」と言ふことを堂々と組合員の前に發表してゐる。出鱈目もこれ迄徹底するにはなかなか非凡の腕前である。

自治會が「青年部を設置すること」「敎育運動をすること」「全國組合會議を促進すること」「勞働農民黨合同支部を設置すること」等は昨年度及び本年度大會の決議であり尙宣言にもこれ等のことを力說してゐるではないか。彼等が共產黨だと言ふ人々の行動は自治會態度と立場以外に一步も出てゐないのである。勿論極端に右に墮落した彼等から比較すれば左に居ることは確かだ。けれども彼等から見た左は自治會本來

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の立場なのである。

斯の如き理由にならぬ理由を付し、極めて陰險な疾風迅雷的な戰策によつて、自動車五支部及び電車部の闘士數名の除名を敢行した。しかもこの重要問題を議すべき中央委員會の通知が前日の午後五時に議題も示さずに速達便を以つて發せられたこと、中央委員會當日傍聽者及び中央委員の一部が、中央委員會を延期するか、臨時大會を開くかの希望を提出したにも不拘、これを一蹴し去つたことを思ふこき、彼等の惡辣なる陰謀振りを充分に觀取することが出來る。

かくして純良なる一萬五千の組合員は彼等によつて寢耳に水を浴せかけられた。

（五）　分裂反對運動の發展

陰險なる分裂政策の魔手によつて自治會が蹂躙されんこしたこき、各支部の自覺分子は敢然起つて分裂反對の烽火を擧げた。中央委員會の翌日、各支部の有志は期せずして櫻田門支部に集合した。この會合に於いて分裂反對運動に對する協議が進められ、更に全支部の有志に向つて檄を飛ばし、組織的分裂反對運動を起すべく協議會を開くことにした。翌二十三日には三ノ輪支部事務所に各支部有志八十余名集合し、自治會の危機を救ふ爲に熱心に分裂除名反對運動に就いて協議した。かくして「市電自治會分裂反對同盟」が成立したのである。各支部に於ては二十一日の中央委員會後急遽支部役員會、或ひは支部臨時大會を開催して、各々自治會の危機に處する態度を決定した。分裂反對同盟が成立するや直ちに支部を擧げて參加したるものは、三ノ輪支部、青山支部、早稻田支部、新宿支部、大塚支部、錦糸堀支部、櫻田門支部、業平支部、目黑支部、駒込支部、自動車々庫支部の十一支部であつて、その外全支部の有志が參加した。

各支部に亘つて一齊に猛烈なる分裂除名反對の烽火が擧るや、右翼醜類共の周章狼狽一方ならず、死物狂ひの逆宣傳を開始した。例によつて「共産黨の陰謀」一點張りの逆宣傳であるが、お生憎樣にもわが分裂反對同盟の運動には少しの痛痒をも感じない。空漠たる旅構の宣傳のみだから。彼等の狂態はこれに止まるぬ。赤化防止團の米村からでも敎はつて來たのか、一夜のうちに『共産黨排撃青年同盟』なるものを作り上げた。我々が都下の中間派の友誼組合有志を招待して、分裂問題の眞相を報告したるに、この會合を聞きつけた彼等は、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

恰も鬼の首でも取つたる如く「共産黨一派の陰謀遂に曝露す」この見出しのもとに、この會合をして「自治會を共産黨の支配下に置かんとする陰謀である」との宣傳ビラを出した。そしてこの會合に於いて本部書記の解雇手當八ケ月を要求することを協議したと言つてゐる。彼等のノボセ方も玆に至つてはむしろ滑稽以上である。

我等は彼等の虚構の逆宣傳に對して、事實を以つて駁撃を加へた。更に彼等醜類一味の組合員を喰物にして私慾を圖つた、階級的裏切行爲を的確なる事實を以つて、一般組合員の前に曝露した。一般組合員も何時迄も彼等に瞞着されては居なかつた。醜類の裏切行爲の糾彈、分裂政策に對する反對はいよく\/熾烈となつて來た。彼等醜類の地盤と目されてゐた支部は續々と反對同盟へ來り投じた。

彼等が頼みとしてゐた三田支部、信號支部も支部を擧げて反對運動に參加し、郊外支部も二三を除いては全部參加したのである。かくして今や分裂反對運動は全自治會の運動となり、組合員の三分の二は完全に反對同盟の下に結合した。組合員の日常利益を賣りつける「現實主義」の分裂政策は完全に組合大衆の前に叩き伏せられた。

彼等は泣きごとを言つて曰く「ソロバンが違つた」と。しかも尚彼等は頑強なる態度を持して虚勢を張つてゐる。我々が臨時大會の開催を要求してゐるのに對して「大會を開くと諸君に負ける」と、これだけは正直な告白をしてゐる。彼等は中央委員會の決定であるとの一點張りで頑張つてゐるが、中央委員會の決定が組合員の多數に依つて不當であるとされたとき當然臨時大會を開くべきである。しかるに形勢不利を知つてゐる彼等は頑として臨時大會の要求に應じない。彼等の頭は賀川豐彦氏が定義した「共産黨」よりも幾倍もの恐ろしい「多數者の意見を重んじない」ブルヂョア專制主義によつて固まつてゐるのだ。

分裂政策が勝つか、統一主義が勝つか、大勢は既に決した。只殘るものは時間の問題のみである。

市電自治會の分裂政策は、市電自治會だけに止まる問題ではない。近時熾烈となつて來たブルヂョアとその意識的協力者によつて行はるゝ分裂政策の一環である。分裂政策が勝つか、統一主義が勝つかは、日本の無産階級運動に決定的な重要さを持つ問題である。自治會の分裂反對運動は同時に日本無産階級の分裂反對運動でなければならぬ。我等はこれを機として全日本の無産階級が起つて分裂反對の爲に結束すべきであることを痛感するものである。全日本の無産階級よ、奮然起つて、ブルヂョア及びその意識的協力者の分裂政策に備へよ。――九、一七、――

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本農民運動の方向轉換

守田道輔

一　農民運動の大衆化

農民運動は初期に於て少數指導者の啓蒙的運動形體をとり、それが進展して大衆的運動形體をとるは無産階級運動の必然的段階である。

我が農民運動は大衆化の前提として、中心勢力たる日本農民組合は、本年三月京都に於ける第五回全國大會に於て、府縣聯合會を單位とする中央集權的なる全國的産業別單一組合の組織を確立した。

然るに農民運動進展の必然的過程たる大衆化を妨害する日和見主義が日本農民組合内部に發生したが、農民組合は勞働組合と相違して短期間に於ける急激なる發展であつたゝめ、僅に山梨聯合會と福岡聯合會の一角に漸く根を張るに過ぎなかつた。彼等は日本農民組合より脱退し、全日本農民組合同盟なる改良的組合を設立して、鬪爭的日本農民組合の切崩を試みたが、集中的大衆組織の威力は、日和見主義を大衆に曝露し全員をして益々結束を強固にせしめた。

我が當面せる農民運動の大衆化は、日和見主義の主張する地主階級の攻勢に恐怖して退却する改良主義、協調主義的運動ではない、地主の唱へる農村萬能主義への方向轉換ではない。

農民運動の大衆化は戰線の擴大であり一歩前進である。即ち少數前衛分子の鬪爭より大衆的鬪爭へ、改良的經濟鬪爭より階級的政治鬪爭への進展である。換言すれば全階級的政治鬪爭への方向轉換である。

然しながら我が農民運動の大衆化は小兒病的革命患者に陥

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つてはならぬ。農民大衆のすべての日常爭鬪を全階級的政治鬪爭へ轉換せしめることであらねばならぬ。隨つて全農民大衆の政治鬪爭は全農民大衆の抱擁を條件として進まねばならぬ。即ち未組織農民の組織化、地方的農民組合の全國的單一組合への糾合に努力せねばならぬ。

更に戰線を擴大して勞働者農民の完全なる共同戰線たる勞農組合の總聯合への猛進であらねばならぬ。

二　日和見主義の發展性

農民運動に於ける一つの日和見主義は少數智識階級の指導者の中から生れてくる、彼等は、農民運動が燎原の火の如く進展する時は、階級精神と階級的行動を强調するが、運動が行詰り、更に地主階級の逆襲に見舞れると、元の自由主義に立還り、階級鬪爭を回避し、地主階級に意識的に迎合し所謂農村主義、現實政策、溫健主義の名の下に、對立的鬪爭的農民運動をば革命的理論を弄ぶ共產主義者の運動と罵倒して、農民大衆と前衞分子とを離反せしめる、彼等は支配階級と一緒になつて、無產階級の共同戰線を分割し、支配階級擁護の下に日和見主義の發展を圖るのである。

モ一つの日和見主義はブルジョア的觀念を有する農民自體のなかゝら生れてくる、彼等の特質として永年の間、地主階級に搾取され差別されて來た因習から、一度農民組合の幹部地位を獲得し、地主階級と對等的地位に置かれるに至ると有頂天となり、待構へたるブルジョアの懷柔政策の手にマンマと乘つて階級鬪爭を回避して仕舞ふのである。

我が農民運動は日和見主義の發生と、其の發展性のため重大なる危機に當面してゐる。外部的影響として國際勞働運動の一潮流たる日和見主義は、日本勞働運動の上にも一大勢力を築き、更に我が農民運動の上にも魔手を延して日和見主義化に努めてゐる。

我が日和見主義農民運動は最近、山梨聯合會、福岡聯合會の一部、北日本、大和農民組合等によつて、日和見勞働組合統制の下に全日本農民組合同盟なる改良組合を設立した。

吾々が過誤を侵してならないのは、日和見主義農民運動が單に全日本農民組合同盟の一部分にのみ存在してゐるものだといふ安心した考方である。其處で先づ日和見主義が全日本農民組合同盟を設立した原因と動機とが何れにあつたかを知らねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山梨の脫退、農民同盟の成立は、策謀に長けたる日和見の典型とし極めて拙の拙たるものであつた。際物的に鳴物入で糾合した福岡縣聯合會、中部農民組合、島根小作聯合會が俄に不參加を聲明して豫定に大狂せを生じたが、兎に角大芝居を打つた點には相當の根據がなければならぬ。

彼等日和見は農民組合內部に根强い勢力を張つてゐなかつたので、組合內部の階級分子の擡頭に對し常に恐怖してゐた、特に組織改造、無產政黨問題ではコヒドクやつつけられてゐた。我が農民運動の重大なる轉換期に當面せる第五回大會に於ては彼等の階級的裏切行爲に對し査問委員會を開いた、彼等の恨は骨髓に徹してゐたものと解釋して差支ない。

第五回大會に於ける急進的總聯合の提唱、靑年代議員と一部代議員との靑年部を中心とする一大衝突、某代議員の智識階級及勞働組合出身の運動者排斥、有名なる某氏の共產主義者の策動に對する警戒の警句、大會は空氣は赤色より白色へと展開した。日和見の地盤たる山梨聯合會、福岡聯合會は退場し、引續て二三の聯合會が附和雷同的に退場した。彼等は分裂の機會を待構へてゐたが、時來れと策動を開始した。

彼等の策動を無意識的に援助したものは言ふまでもなく附和雷同して退場した二三の聯合會であつた。彼等日和見は、無意識的二三聯合會が日和見化して來り投ずべきと信じてゐた。斯の如き原因と動機があの結果を生むに至つた。若しあの際組合內部の階級分子が分裂防止のため積極的活動を怠つてゐたならば、日本の農民運動は恐らく日和見の掌中に握られて、さぞかし地主と資本家と政府と日和見を喜ばしてゐたであらう。

日本農民組合內部の階級分子は逸早く各聯合會をして聲明書を發表せしめ日和見主義の醜體を曝露し、全組合員の結束を圖り、更に近畿協議會、中國四國協議會を開いて、鬪爭的農民團體として保持せしめたために、日和見は手も足も出なかつた。然るに第二の日和見主義が福岡聯合會、德島聯合會にも發生した、鬪爭的日本農民組合は多大の犧牲を拂つて是を克服した。

吾々は地主階級の攻勢に恐怖する農民運動の仲間から、第二、第三の日和見主義が發生することを覺悟しなければならぬ。我が農民運動は絕へず發生し發展を圖る日和見主義を徹底的に克服すること能はざる時は、農民運動を黑シャツの手に渡す時である。吾々は常に地主階級の代理人たる日和見主

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

義の階級的裏切行爲を農民大衆に曝露し、彼等を無產階級運動より放逐しなければならぬ。

日和見主義を絶滅することなく農民運動は進展しない。

三　爭議戰術の方向轉換

資本主義發達に伴ふ農村の衰退は必然的に小作爭議を發生せしめた、資本主義の興隆時代たる大正六七八年頃に於ける小作人の爭議戰術は、耕地返還を以て地主を脅威し小作料減額の目的を達した。然るに資本主義の崩壞期に入れる大正九年の經濟界恐慌襲來後の失業者の續出、朝鮮人勞働者の農村侵入は、小作人の耕地返還戰術は、對手地主にとつては何の痛痒も感ぜしめなかつた。

資本主義が沒落期に向へる時に、農村に於ける小作人の耕地返還戰術は威力を失つて了つたので、新しき爭議戰術が生れなければならなかつた。愛知縣鳴海町の小作爭議に初めて試みられた滯納同盟が、何時の間にか、日本農民組合の科學的新戰術として採用されるに至つた。小作人は日本農民組合に參加し、全國的團結の威力を以て一時的又は永久的に小作料の引下げを地主に要求し若し地主にして拒絶せる場合は滯納同盟の手段に出づるのであつた。滯納は地主にとつては經濟的に痛苦を感ずるので泣く泣く小作人の要求に應じたが、頑强なる一部の地主は法律を以て小作米請求訴訟、假差押、立入禁止等の手段に出づるので、小作人側としては農民組合の顧問辯護士に萬事委任といふ法廷訴訟萬能の爭議戰術が生れて來た。頑强なる地主も農民組合の法廷訴訟のからくりに出會つては矢張り屈服せざるを得なかつた。

法廷戰術が農民組合唯一の戰術として繰返されてゆく中に、地主と其の代辯者たる裁判所とは訴訟戰術のからくりを段々と觀破するに至ると、地主は訴訟回避主義を捨てゝ訴訟萬能主義へと方向を轉換したのである。小作人の團結は地主の團結となり、積極的に訴訟を提起するに至つた。彼等は財力に豐富であり、裁判所を味方に有するので、地主の訴訟主義は忽ちにして小作人の訴訟主義を屈服せしめた。隨つて滯納同盟も、最早一支部、一地方では効果が薄くなつた。其處で小作人側としては、次の戰術を發見しなければならなくなつた。

小作人の爭議戰術が、耕地返還主義より、滯納同盟による法廷訴訟主義へ、更に新らしき全階級的政治鬪爭へ轉換され

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てゆく時に、地主階級は最後の力、即ち支配階級全體の政治的權力を以て土地返還、立入禁止の最後的手段に出するのである。

農村階級鬪爭は、小作料減額戰より、土地爭奪戰へ轉換されてゆく、地主は最近全國的團結たる大日本地主協會を組織して國家權力ミ結んで、農民運動に對し積極的攻勢に出た。

我が農民運動の爭議戰術が全階級的政治鬪爭へ轉換されてゆく時に、吾々は先づ當面の敵たる地主階級の陣營ミ方向をハツキリ認識しなければならぬ。

四　地主階級の攻勢

明治維新の恩惠によつて地主階級は、土地私有制度を確立し、更に基礎を强固にするミ共に、彼等は封建制度に優る搾取を小作人階級ゝ上に加へて、かなり長年月の間安逸の夢を貪つてゐたが、近代農民運動の襲來は、彼等に執つては、幕末に於ける黑船の來航よりも尙戰慄すべきものであつた。

資本主義的封建社會に於ける地主ミ小作人の觀念は全然主從關係であつた。從者たる小作人が、主人たる地主に小作料減額を要求し、爭ふ事は確に反逆的行爲であつたが、封建的觀念を有する地主共は、所謂體面を重んじ小作人ミ鬪爭するミを回避し、溫情主義を振廻して小作人の要求を容れたのである。

然しながら如何なる溫情主義者、如何なる封建的觀念の持主ミ雖、近代的農民運動の急激なる追擊に面しては、其處には必ず自己階級の沒落を意識し、搾取階級ミしての地位を保持せんミして、鬪爭的農民運動の上に猛然ミ攻勢に出づるのは當然の事である。

沒落期に當面せる地主階級は徹底的に攻勢に出たが、彼等は自己階級のみによつて、押寄せ來る小作人階級ミ鬪爭して勝味のない事を知つてゐる。其處で表面には國家權力を立てゝ其支配階級全體の政治的權力を以て、小作人階級ミ鬪爭せしめるのである。

彼等は先づ治安維持法、暴力行爲等處罰法を制定して農民運動を高壓し、數百千の警察官の出動を促して、假差押、立入禁止、競賣を執行する、裁判所ミいふ裁判所は殆ご、地主の有利に判決を下すのである。

地主階級は支配階級全體の政治的勢力を總動員して、農民運動の上に攻勢に出てゐる。過去一ヶ年に亘る犧牲者、香

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

川、德島、佐賀、山口、岡山、大阪、京都、新潟、千葉、山形に於ける二百人に餘る刑事被告人は何を物語るか、政治的攻勢即ち夫れである。

誰かゞ言つた、是からの農民運動は民事々件より、刑事々件への方向轉換だ。正に其通りだ、それを否定すべき反證を擧げることは出來ぬ。

五　農民運動の政治鬪爭化

地主階級は支配階級全體の政治的權力を以て、農民運動の上に加へ來れる攻勢に對して、組合主義一點張の部分的經濟鬪爭の爭議戰術は全然威力を失つた。支配階級全體の政治的攻勢に對抗する我が農民運動の戰術は、只一つある、それは無產階級全體の結成されたる政治的攻勢より外にない。吾々は支配階級の毒酒たる改良政策、日和見の迎合政策に斷じて惑はされてはならぬ。

我が農民運動は、沒落の過程を辿りつゝある斷末魔の地主階級のため、過去一ヶ年間に亘り二百人の刑事被告人を監獄に送つた。數百町步の立毛は差押へられ、數百町步の田地は耕作を禁止され、數千人の家族は働手を奪はれ、土地を失つて食ふに食なき狀態に置かれてゐる。

支配階級は爆發の日を急ぐためか油を注ひで燃上る農村階級鬪爭の火勢を煽いでゐる。最後の日は目前に迫つてゐる。

日本農民組合は當面せる耕作禁止、立毛差押、暴法濫用の絕滅を期するため去る七月十日、十一日に大阪總本部に於て全國爭議部長會議を開いて、耕作禁止、立毛差押、暴法反對の全國的大示威運動を起すことに決定した。其方法として示威行列、大會及演說會の開催、小學校生徒の全國的盟休、示威運動に勞働組合の參加等であつた。

斯して我が農民運動は組合主義的經濟鬪爭より、社會主義的政治鬪爭へ飛躍せんとするに至つた。我が農民運動方向轉換の全目的は、勞働農民黨の活躍、勞働組合、農民組合の總聯合の結成によつて行はるゝ政治的總不納同盟、政治的總同盟罷業である。

我が農民運動は既に政治鬪爭場合に進出しつゝある。吾々は積極的に方向轉換をやらなければならぬ。吾々は先づ農民大衆をして、農民運動の全階級的政治鬪爭化の意義を認識せしめると共に全階級的共同戰線を擴大するため勞働農民黨に農民大衆を積極的に參加せしめて、あらゆる無產階級團體總動員の訓練を行ふべく準備しなければならぬ。

我が農民運動は社會主義的政治鬪爭への方向轉換によつて最期の目標に到達することが出來る。

（一九二六年七月二十八日）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

地主階級の飛躍と耕作權

青木惠一

一、地主と耕作權の關係

私は、既に七月號において「農民運動と耕作權」の題下に耕作權の問題が如何なる傾向に、如何に展開しつゝあるかを極めて簡畧に論述しておいた。

だが、私は地主――所有權者の、即ち、資本主義制度の下において、統一せられたる私有財産權が法的形態の下に確立せられ、保證せられた主體が、如何に發展し、其の内部において、如何に對立せる矛盾が展開せられつゝあつたかを、見究めることによつて、耕作權確立の社會的基礎は展開せられ得るものであることを信ずる。

換言すれば、先の論稿においては、新に、耕作權を獲得する主體が如何なる段階にまで、揚棄され、如何に必然的過程を闘ひ取りつゝ、然も、資本主義社會に内在せしめておる、二大階級――無産階級の擡頭による、有産階級の侵蝕、從つて、耕作權の確立を其の社會的形態の展開に過ぎないことを云つた。此處において、私は、更に進んで、ブルジョアヂーの内部が、如何に展開し、如何に矛盾を擴大して、然も、其の所有權者の内部に耕作權を確立せねばならないかを、私達は究明せねばならないのである。

斯る意味において、私は地主――(ブルジョアヂーの一部を形成して居る)――が如何なる過程を過程したかと云ふこの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

中に、揚棄せられたるブルジョアヂーを見究めんとする。即ち、耕作權が地主階級の、階級構成過程に如何に展開しつゝあるかを見究めんとするものである。

二、地主階級の過程

A、封建地主と藩主

所謂、地主が一の階級構成の過程において——資本者階級への飛躍過程を見究めんとする爲には、封建地主の形態より如何に展開せるかを知らねばならぬ。

封建地主は庄屋の外、酒屋、質屋、油屋、醫者の如き形態を取つて居る。だが封建地主は本質において、資本主義社會の——(日本)——地主と形態を異にして居る。即ち、封建地主は所謂「領有權」者下に成立して居るものであつた。

從つて、「封建地主」は領有權者の支配を受けることによつて、政治的、法的基礎が確立せられておつたものである。

領有權は、即ち、「領主」——「藩主」に屬しておるものである。「藩主」は、從つて、支配する所の「封建地主」に對して、賦役することによつて其の領有權の社會的關係を發生せしめておつたのである。このことは所謂「封建地主」をして領有權者の代理としての形態を賦與するものであつた。

封建地主は、其の所謂地主として、其の下に小作人を屬せしめる。小作人は封建時代においては百姓である。——「佃人、作人、作主、作手、作子、頭擴、門(カド)百姓、抱百姓、入百姓、被官、名子、間人、府人、無緣者」と稱せられたるものである。斯くして所有權は分割され、分割所有權の形態を取つて居る。從つて封建地主は、實際において、藩主の仲間(ゲン)であり、手代である。

「此の時代——(德川時代)——における土地所有者が、若し、皇室に在りたりとすれば、諸侯の領地は何と稱すべきか。諸侯の領地を天皇の所有權に附屬せる用益權とすれば、其下の農民(地主)の土地保有を何と稱すべきか。更に又此地主の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

下に附く永小作を如何に説明すべきか。其の間の關係茫漠として捕促し難きものあらん。故に天皇を以て、土地所有權者とする觀念を前提としては、徳川時代の土地制度を了解すべからず。然らば又諸侯を以て土地の所有者と看做さんか、其領内の農民(地主)は藩主に對して用益權者(永小作人)と看做さるべく、隨つて其下の農民たる地主に附く永小作者(又は小作者)は如何に説明して可なるべきか。其の關係の茫漠たる點に於ては前記の場合と異らざるものあらん――永小作論――小野武夫」

斯く、所有權は種々雜多の形態に表現せられて居るのである。

斯くの如き形態が、封建制度の崩壊によつて必然的に齎された明治維新――ブルジョア革命によつて、ブルジョア的に變革されたのである。

B、明治維新と企業地主への飛躍

分割所有權の形態――領有權、所有權、耕作權の三種、三形態が土地における社會的形態を形成するものである。所が、ブルジョア的勢力が封建勢力を漸次侵潤して、遂に資本主義的革命を完成する――斯くの如き社會の變革過程は、土地制度をして、純然たる私有權を確立するに至つた。即ち、「土地を小作人に賣受候歟永小作權利を地主に買受歟、双方熟議の上私有の分可相立」の如く封建的な領有權は、新なる地主の手に併合せらるゝと共に地租制度の確立に基く、封建的な賦役制度は變革せられたのである。

之處において、封建時代において可成「主從關係」を續けた地主小作人の關係は、即ち、地主は、其の領有權者――藩主の被護の下に其の社會的立場を保持し、又小作人――農民は封建的な相互扶助の下に、一種の主從關係を結成して居たと云ふことを以て、小作人は可成地主を支持する立場を持して居た。

斯くの如きは、土地に對する各人の社會的關係が分割所有權の形態を取れると云ふに基礎をおくものである。從つて、明治維新に基いて、私有權の確立が法的、政治的に基礎づけらるゝと共に入會山、部落有林其の他村持ちの形態を取れる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

土地は特定の所有者を確認するに至つた。

私有權が、確認せらるゝと共に、封建的關係の下に存在した地主は新なる權力を附加することによつて、所謂「封建地主」より「企業地主」へと飛躍するに至つたのである。

ブハーリンの云ふやうに、資本主義の一特徴をなすものは私有財産權であるとしたならば——斯くして、資本主義的制度を——新に獲得したる地主へと飛躍せると云ふ意味を有するものである。

從つて土地は封建的形態を全く失墜すると共に、新に資本主義的形態を完全に有するに至つた、即ち、

御布告案

地所永代賣買の儀從來禁制に候處、自今四民共に賣買致し所持候儀差許候事

干支月

太政官
府縣

斯くして土地が賣買——資本主義的營利組織の支配を受けるに至つたのである、從つてこの形態を内部に取入れることによつて新なる純然たる「企業地主」としての形態を形成したものである。

C、企業地主と封建地主

封建地主は、然らば如何にして企業地主へとしての飛躍をなしたか？ これについてしばらく語らねばならぬ。

封建地主は既に述べたる如くに、庄屋の外に油屋、酒屋、醫者、質屋の如きものである。從つて之等は農村においてギルト制下の商工業である。彼等は領有者より附與せられた特許權（酒屋の如きは所謂株によつて、酒屋となつて居た）によつて保護を受けて居た。彼等は農民より賦役制度に基く年貢米を受け取り、藩主規定の年貢米を、藩主に納めるのである。從つて、特權は之の役に對して附與せられたるものである。對建地主が自身の收納する部分は、從つて新に農民に附加せしめねばならぬのである。領有權に對すのと同時に封建地主に對して、其の所有權に對する年貢を納めねばならぬのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯くの如き狀態におかれた所有權は、領有權者より得んには附與せられた特許制度を有して居た。從つて、小作人（農民）に對して、何等かの名目の下に納めしめねばならぬ——即ち、口米、込米、コボレ米等の名によつて、一般の小作米に追加徵收せられたるものである。從つて封建地主は中間において小作人より絞り取ると云ふ形の下に其の生存が許されて居た。

斯る生存を許された封建地主が社會の變革過程——明治維新によつて附與せられたる權利の下に扶植した經濟的勢力を一躍有利なる方面へと展開せられたのである。即ち、彼等の多くは農民間の「高利貸」としておつたのであるから、農民に非常に高利なる資金を融通しておつたのである。變革によつて土地を購入して自作農の形態を取るに至つたものに高利資金を融通したり、又、自己の所有する資金によつて確立されたる所有權を有する土地を購入するに至つた。自作農となれるものは變革に伴ふ變動によつて可成其の高利に苦しまねばならぬ狀態に落入たのであるから、自然に自作農の土地は斯る地主の手中に兼併せらるゝに至つたのである。

斯る狀態は農村における金融業者——高利貸の業を旺盛ならしめる原因となり、明治二十七八年戰前後地方小銀行の極めて多數なりしは斯る封建的勢力の影響を受けたるものと見てよい。從つて、これ等の金融業者は日本の資本主義の跳躍期においては漸次土地兼併に基いて、企業地主として發達して來たのである。封建地主は附與せられたる權利の下において、企業地主への飛躍を完成せしめたのである。

三、地主階級の資本主義的展開

企業地主は、斯る社會狀態の下に——資本主義的形態の下に漸次展開の傾向を有するに至つた。
然し、資本主義の特徴をなすものは先のブハーリンの曰ふ如くに

一、私有財產制度
二、賃銀勞働制度
三、商品生產制度

と云ふ、三特徴を有するものである。從つて、又、資本主義は、其の發展の過程において指導せられて居る力は——利潤

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の獲得である。

このことは「農は國の本なり」と云ふ言葉に對しても何等の拘束を享けるものではない。ラセン狀態に上昇して行く——發展して行く資本主義は利潤率の大なる產業部門へと其の飛躍が試みらるゝのである。即ち、農業より商業へ、商業より工業へ、工業より銀行業へと其の社會の指導的中心をなす產業部門は移動して行くのである。

斯る移動は、地主に反映して、農村において企業地主として展開して來た其の勢力を漸次他の產業部門へと移動せしめ農村における勢力は漸次、都會へ——地域的には——と集中されて行く。

斯る資本主義社會における集中の過程は、從つて、地主階級をして、益々土地兼併に基く利潤率の上昇過程へと進展して行くのであるから、自然に土地——生產手段の集中に基く小地主乃至自作農の沒落過程へと進むのである。斯る傾向は商工業乃至金融資本の發展の過程との統一によつてよく理解せらるゝものであるが、要するに、斯る階級における地主は、漸次は普通企業地主と其の內部においては起れる新なる不在地主とを分化せしめて來るのである。

從つて、企業地主階級は其の內在的矛盾の過程に從つて、漸次極めて異れる新なる二つの對立せる階級が胚胎せらるゝに至つた。斯くして、地主階級はブルジョアヂーの內部に存在し、然も、普通地主と不在地主とを激成せらるゝに至つた。

普通地主は資本主義の旺盛なる時代において中心となれる地主階級にして、然も封建的地主の形態を內部に包在せしめておるものであるが、不在地主は純然たる資本主義的形態の下に展開せられつゝある。地主階級を形成するものである。從つて斯る形態を激成するに至つたことは本質において資本主義的集中——發展の過程が階級構成の過程に反映しおるを暗示するものである。

四、不在地主の完成

地主級階は、資本主義の展開に伴ひて漸次に分化されつゝあることについては既に述べて來た所である。然し展開の段階がある程度に到達せる時は本來の地主の形態を以てしては其の社會的條件に不備を來し、引いては其の生存形態を失ふに至る。こゝにおいて地主は適切せる社會的形態を獲る、この一形態として地主は其の有する所の資金——農業による利益金乃至は土地賣却による資金を農業資本の形態より、商乃至工業資本へと轉化せしめ行くのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯くの如き展開は商工業への資本吸收となり、資本の投下、轉化となつて、次第に農業は資本を失ふに至る。農業資本の量的減少は、續いて土地の集中を惹起するものである。從つて、土地集中に基いて相關的に農業資本の轉化は、地主の都市集中過程へと反映するものである。

こゝにおいて、地主は不在地主として、都會に其の資本を轉化せしめつゝ、地主として土地――生產手段を小作せしめて、土地と勞働力の收奪を續行しつゝあるものである。從つて不在地主は、最も新しい資本主義的勢力を獲得して、土地を支配し、土地を支配する其の所有權に基いて、農民の勞働力を收奪するものである。

換言すれば、不在地主は所有權に基く資本主義的勢力を都市において――商工業の立脚地より支配する。從つて、不在地主は生產手段としての土地より、殆んど何等の直接の干涉、生產上の封建的扶助をなさずに、資本主義制度の收奪をなして居るものである。

斯る、所有に基く支配――收奪の關係は不在地主としての形態を完成せるものである。

然し、不在地主と普通地主との差位を見究めるに――旣に私の論究せる所であるが、普通地主は封建的勢力を內在し、復古的に――反動的に可成、資本主義的制度の形態より――斯る潮流を退避して、商工業への資本轉化を回避して居るかの如くに見らるゝのである。普通地主は、從つて、收奪關係は封建的に結合して居る。封建的な――主從關係に基く――干涉、小作農民に對する關係において親子關係であると云ふ、封建的美風の假面の下に――收奪を增大しつゝあるのである。

換言すれば、資本主義的勢力を表面に入れず、封建的搾取關係を以て、斯の潮流に棹して居る。即ち、口米、込米等の形によつて其の改良を――撤廢をなさずに小作關係を續けて居るのである。それが爲に封建的關係――即ち地主の小作に對する干涉、親子としての關係を重要とするのである。

斯くして、不在地主と普通地主との根本的差位を保持しつゝある。

斯る二つの對立せる地主階級の關係は、今や統一せられたる、新なる地主階級への發展をなしつゝある。認識せねばならぬ――地主階級の唯物辯證法的展開である。

然し、不在地主と普通地主との鬪爭の過程は不在地主への勢力――資本主義の展開過程は、不在地主をして拋棄せしめ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新なる勢力を獲得せしめるに至つた。

従つて、不在地主は、斯くして地主階級發展の一階級である。

五、企業地主階級の飛躍

「資本主義はその發展に伴ひて、利潤率の低下を來す」――マルクスの言葉は、私達の論究對照――資本主義の原則的な展開である。從つて、展開は自由競爭制度形態を獨占的形態へと導くのである。獨占によつて利潤率の低下を阻止せんとするのである。

斯る理由の下に生ぜる、獨占的形態は他の場所においてマルクスが曰へる如く――「一人の大資本家は、よく十人の小資本家を殺す」のである。封建的に退避せんとする普通地主をも、又資本主義展開期に可成、資本主義的潮流に生ぜる不在地主も斯る原則の前には低頭せねばならなくなつて來た。だが、其の二者において不在地主地は獨占期への飛躍を、可成有利になしたと云ふことは爭われぬ事實である、このことは資本主義のメカニズムをよく侵潤せしめて居つたと云ふことを意味する――斯る段階の過程を完成して居つたと云ふ意味である。

飛躍、突入せる階級とは、斯る過程を、斯る原則の下に展開せしめた、この推進力を獨占的支配化することである。即ち、不在地主、普通地主をして、獨占的形態へ、化成せしめることによつて、資本主義の統一せられたる一階段を形成するのである。地主階級においては、明かに新たに段階として獨占的形態としての金融資本が統一者として、表われたと云ふことである。

生産手段としての土地を集中せしめた過程は既に終りを告げ、新に利潤率が低下しつゝある、過程を抛棄せしめる爲には、生産手段の支配にある、生産手段を獨占し、支配することは金融資本の新なる任務となつて來たのを意味するのである。

即ち、地方小銀行の集中により、一大資本家の掌中に銀行業乃至保險事業が集中せられつゝある狀況は、又トラスト、カルテル、シンヂケートの形態へと飛躍しつゝある狀態は獨占的形態への飛躍を意味して居るものである。（詳細については拙著「資本主義沒落期の農民問題」について參照せられよ）見よ、地方小銀行の合併、又、それは農工銀行の存在を無

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

視して、土地を抵當として居る狀態を！

斯くして、地主は土地を生產手段として行使する社會性を失墜せしめ、以て、之を一の投機性を有するものとして行使するに至つた。然も、其投機性は、其の法的、政治的形態の所有權を重要なる要素として居つた。だが、金融資本の獨占的勢力を以て土地を支配する――斯る形態は所有權を其の要素とするものでなくなつた。

即ち、獨占的金融資本主義が土地に及ぶと共に、それ自體土地所有權を以て、支配勢力の對照とせざるに至るのである。

今日本の資本主義は、斯る過程を過程しつゝ、土地をして斯る形態の下に存在せしめつゝある、我々は、斯くして地主階級の過程――過程の飛躍によつて所有權の矛盾――資本主義社會に內在し、それ自體を崩壞せしめる要素を有する過程へ、企業地主は飛躍しつゝあるを我々は認識することが出來るのである。この認識より、私達は耕作權の形態を認識するの可能性を認識することが出來る――（これについては、拙稿「耕作權の確立」――を參照せられよ）――

斯る認識に誤謬を侵す時は、極めて重大なる誤謬への過程となる、――即ちドイツ憲法の如く、所有權は義務を負ふ――と云ふ極めて小ブルジョア的形態の下に其の展開を阻止せられ、乃至は、小作法において、小作法自體を以て十九世紀頃の所有權を更に確立するを以て其の基本的基礎とせられ、乃至は、小作法を以て、耕作權の經濟的發展の過程を遮斷せしめて、耕作權をして、地主階級の所有權をして、單に法的に、極めて、ブルジョア的な確立をなすに過ぎぬのである。

六、近代地主の飛躍と耕作權

企業地主は、既に、斯くの如き過程を過程し、獨占的形態へ飛躍をなした、斯る飛躍は然らば所有權を經濟的に如何なる部分に放置せしめるに至つたか？

獨占的形態を、取られた資本主義下の土地は資本主義的の特徵をなして居つた。其の私有權に拘泥せずに、斯る飛躍をなしたのであるから、其の所有權に對して可成の無視をなして居たと云ふことを意味して居る――即ち、資本主義自體が其の基礎的形態をとつて居つた、私有權を、利潤率を上昇せしめ、其の低下を制限せんとする――斯る原則に從つて、商品生產、其の循環過程を展開せしめる爲には、獨占的形態を獲得せねばならぬ。その爲には――この經濟的原則は土地の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私有權に對して、斯る法的形態と並行することは不可能となる。

斯くして、所有權は金融資本主義の展開。飛躍により、獨占的制限をなす、獨占的制限自體、所有權の制限を意味し、所有權は所有權者としての地主自體を經濟的に制限するのである。

從つて、資本主義は自己を否認せんとするの形態を自體において表現しつゝある。

それはブルジョアヂーの内部に自己を否認せんとしつゝある要素、プロレタリアの發生を意味すると同樣――斯る階級過程及び經濟過程を資本主義はとりつゝある。

資本主義は、確立せる所有權を、獨占的形態を形成すると共に二者相競ふ、二つの矛盾を對立せしめるに至つた。

地主は近代的飛躍をなすと共に斯くの如き矛盾自體を否認せんとする矛盾を露出せしめつゝあることは明かに、其の崩壞過程への進出を意味して居るものである。

斯くの如き、過程獨占的形態下の、且つこの、所有權は斯くして、耕作權轉化過程へと展開しつゝある。

地主が資本主義下に展開しつゝある方向は――斯くして獨占的金融資本主義の形態を取るや、自體において、制限なき所有權を自身制限しつゝある狀態にある、この部分はブルジョアヂーが拋棄しつゝあるものであり、自身に生ぜる矛盾の過程である。從つて、この矛盾はプロレタリーアが、階級過程においてブルジョアヂー自體と矛盾を來しつゝあるプロレタリアート相合致し、プロレタリアートが獲得すべき部分であることは――統一すべきものであることは、資本主義の下において必然的過程である。

斯る部分こそ本質的に耕作權として法的形態を附與せらるべきものにして、この經濟的發展の過程傾向を無視して、耕作權を確立せんとする努力は明かにプロレタリアートのブルジョアヂーとの對立における敗慘であり、然も、プロレタリアートの鬪爭戰線の未擴張を意味するのである。

耕作權の獲得は本質において、斯る、部分の獲得にあるのであつて、それは地主階級の飛躍的展開に基いて拋棄しつゝある。否自身を否認せんとする要素である。私達はこの要素の激成過程を認識することによつて、耕作權確立の本當の意味を獲得し得るものであり得ると考へる。

（新潟縣木崎村爭議團本部にて、爭議の爲資料なく殆んど其の完成を得ぬ有樣なれど大體の意は諸君に告げ得るものと考ふ。敢て御叱正をこふ。）

調査

プロレタリア選擧運動と濱松市普選の經驗

原　叔　人

一

普通選擧法の施行は、兎に角にも、日本のブルジョアジーにとつて大なる危惧であり、それと同時に日本の全無產階級にとつては希望である。尠く共、それは從來政治から遮斷せられてゐた一般無產大衆をば政治に引きつけ、さうすることに依つて彼等を政治的に教育し、訓練する絕好の機會である。無產階級運動の大衆化、組合主義的運動より全無產階級的政治運動へ、それ等は尠く共選擧を通じて行はれることが絕對に必要であり、且つ有效なるは勿論である。而してそれが全國的總選擧なる來るべき衆議院議員選擧に於て最大の意義を有つべきは勿論であるが、一般大衆の日常生活と密接な聯關を保つてゐると云ふ點に於て、地方自治體特に市町村會議員選擧に就ても、我等はこれを看過することを得ないのである。

二

普通選擧は、本年に於ける市制町村制改正の結果、市町村會議員選擧にも行はるゝこととなり、從來三級若しく二級の納稅階級別選擧が廢止さるゝと共に、納稅資格、獨立の生計者等の條件が撤廢せられた。無產大衆はこれを轉機として、地方自治體の政治に參加し、地方的日常的の彼等の利害のために、地方ブルジョアとの鬪爭を猛烈に鬪ふであらうし、そして又それは無產階級が全國的規模に於て、且つ全無

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

産階級的に、全ブルジョアと闘爭するための絶對に必要な基礎となるであらう。

かくて我等は、普通選擧に依る帝國議會議員選擧に先立つて、全國最初の普選を經驗した濱松市會議員選擧に就て、多くの貴重なる敎訓を引出さなければならないのである。何故ならば、かくする事に依つて、單に一濱松市に於ける經驗が、全國的意味に迄、昂揚せられるからである。

三

地方自治體の選擧に對するプロレタリアの運動は、併しながら、今回の普通選擧より始めて起つた譯ではない。それは從來とても、

一、納稅額其他の選擧資格が國會議員の場合に比して遙かに低下してゐた爲に、

二、特に大正十年改正市制町村制に依つて從來よりも著しく選擧權擴張せられた爲めに、

三、並びに、地方政治は地方無產者にとつて密接な日常利害の問題たることが明白であり、それと同時に地方政治に於けるブルジョアの權力獨占が彼等にとつても餘りに明白なる現實であるが爲めに、

各地に於ける盛んなる運動を見たのであつた。今濱松市に於ける日本最初の普通選擧に對するプロレタリアの運動を見る前に、先づ姑く從來の地方自治體選擧に於けるプロレタリアの運動を見なければならぬ。

× × × ×

昨年行はれた市町村會議員の總選擧は、大正十年改正擴張せられた地方選擧制度に基くものであつて、此時既に、ブルジョアジーは既成の地盤に對して大いなる不安を感じ、新興勢力の擡頭を注意深く、併しながら腦ましげな眼付で凝視したのであつたが、その結果我々は次の様な統計を得たのである。

1、大正十四年一月一日より六月末日迄選擧を行ひし市町村

	市町村數	同議員數	同立候補者數	內勞働者若しくは小作人の勢力を背景としたるもの	同上割合
一市	三六	一、三二六	一、八一六	三二	千分ノ十八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

町村	八、九三九	一一八、一一九	一四〇、八〇五	三、四七三	千分ノ二十四
合計	八、九七五	一一九、五二四	一四三、六二一	三、五〇五	千分ノ二十四

2、無産者議員當選數及び當選率

	當選無産議員數	同當選率	總平均當選率
市	二五	七割八分	七割三分
町村	二、七九四	八割	八割三分
合計	二、八一九	八割	八割三分

3、當選者得票數

	當選者全體ヲ通ジテノ一人當平均得票數	無産者側得票數
市	二七二	三四六
町村	三六	三六
合計	三七	三九
總得票數	四、六二六、五六〇	一一二、二一二

4、議員總數に對する無産者議員數の割合

	全員	無産議員	割合
市	一、三二六	二五	千分ノ十九
町村	一一八、一九八	二、七九四	千分ノ二十四
合計	一一九、五二四	二、八一九	千分ノ二十三

而して、無産者議員數が議員定數の三分の一以上を占むるものは全國百二十ケ町村、その二分の一以上を占むるものは六十ケ町村に達した。

以上が大體最後の制限選擧制の下に於ける地方プロレタリ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ア運動の概觀であるが、之に依つても如何に勞働者及び小作人が地方ブルジョアの本據に肉迫しつゝあるかを知ることが出來、同時に地方政治に對する彼等の深刻なる階級的鬪爭意識のめざましい展開を見るのである、而かも全體の投票總數四百六十二萬六千五百六十票中プロレタリア側の投票數は僅かに十一萬二千二百十二票、即ち全體の約二パーセントに過ぎないと云ふことは、制限選擧が齎した結果であつて、普通選擧はこの割合を著しく高めるに相違ない。それは指導と戰術がよければそれだけ一般大衆を政治戰線に迄高めるであらう。これが今回の濱松市議選擧に於ては、如何なつてゐるか。

四

全無產階級の全國的政黨たる勞働農民黨は本年二月に成立し、從つて前述したる昨年の地方自治體選擧に於けるプロレタリアの運動は勞働農民黨支部の活動と云ふ樣なものを持たず、例へば足尾立憲公民黨、九州民權黨、關西民政黨、及び千葉民政黨の如き各地方無產政黨の單獨の運動であるか、乃至は横廠工友會、廣廠工俠會(何れも海軍聯盟加盟組合)並に日本農民組合等の勞働者若しくは農民組合の運動であつた。かうした事實は、その豫期以上の成績にも拘らず、何を我等に敎へて居るのであらうか。曰く、地方に於ける無產階級政治運動が尙ほ著しく自然發生的であり、徹頭徹尾地方的性質を脫してゐないと云ふことである。これを意識的な無產階級政治行動に移し、全國的に押進めることはまさに當面の任務でなければならぬ。普通選擧が施行せられ、全國的單一無產政黨の成立したる今日、この任務は果して成し遂げられてゐるであらうか。

以上の他、今回の濱松市會議員選擧が日本最初の普通選擧であると云ふことからして、ブルジョア並に官憲のこれに對する態度、半無產階級乃至はプチ、ブルジョア層内部に於ける變化、現行の普通選擧制度が現實にどの程度迄所謂普通選擧であつたか、等々、我等の見るべきもの頗る多いのであるが、それは又直に、今後相次で行はるべき地方自治體の選擧(十月上旬札幌、小樽、函館、旭川、室蘭、釧路の北海道六市、及び町村會選擧にして本年度内に行はるゝもの全國十五ありと云ふ）並に國會議員總選擧に對して、貴重なる經驗と暗示を與ふるであらう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

五

濱松市は人口九二、一五二(内男子四五、五〇　)を有する工業都市で、日本樂器、形染、鐵道省濱松工場等の大工場があり、其他小工場は無數に存在してゐる。即ち工場法を適用せられる工場のみでも、その數百五十五、男女工八千七百人(鐵道省工場は含まず)と註せられてゐる。此點今回の濱松市に於ける運動が、今後の工業プロレタリアの選擧運動に對する尠く共一つの經驗たり得る客觀的理由が先づ存在して居る。

尚ほ、投票總數一萬三千人が、その階級的內容から言へば、略々

工業者	一、三〇〇人	商業者	四、八〇〇人
農業者	六〇〇人	工場勞働者	四、一〇〇人
俸給生活者	二、一〇〇人	其他	五〇〇人

の比例に分たれてゐる事實はよくこれを物語つてゐる。そして又以上の比例は、兎も角新しい選擧制度に依つて、無產階級が壓倒的な勢力を以て擡頭してゐることを示してゐるのである。

濱松に於ける組織運動は、併しながら、日尚淺く、日本勞働組合評議會濱松合同勞働組合と同日本鐵道從業員組合濱松支部との二つの組合を有するのみで、合同勞働組合は日本樂器、形染、鈴木機織等の各工場にわたつて約三百の組合員を有し、鐵道從業員組合は鐵道省濱松工場に於ける勞働者を以て組織して、同工場從業員總數の九十パーセントを超ゆる組織率を保有して居る。併しながら、濱松市に於ける勞働者的一萬人に對比すれば、全體の組織率は尚極めて低く、組合以外の組織としても、借家人借地人等の團體はあるが、何れも純プロレタリア的ではなく、無產團體協議會と云つた樣なものもなく、又勞働農民黨支部もない。かう云ふ狀態の下に選擧運動に望むことは甚だしく困難であつた。而かも、それは百餘日に渡る未曾有の深刻なる樂器爭議が、官憲とブルジョアの協力の下に勞働者側の敗北に終つた直後だつたのである。

六

併しながら軈て來るべき市議選擧に對する方策は、既に爭議の惡戰苦鬪のさなかゝら考へられてゐた。濱松合同勞働組合、鐵道從業員組合濱松支部は、借家人、借地人等の無產者的諸團體を加へて、無產者團體協議會を設立すべく畫策した

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が、鐵道從業員組合側の種々の都合に依り（聞く所に依れば之は本省よりの壓迫であつたと云ふ）相談會二回にして、遂にこの共同戰線組織は成立せず、自然消滅に歸した。この間樂器爭議は益々深刻化し、殊に爭議團兒童救濟のために夜間行商を開始する等の事あつて合同勞働組合は全くこの方面に忙殺され加ふるにかの幹部の總檢束、組合鬪士の拘留等のために、また選擧運動に積極的な努力を向けることが出來なかつた。

しかし、期日の切迫するに至つて、ブルジョア候補續々現はれ、選擧氣分政治氣分が濃厚に全市を支配し來り、この方面に於ける鬪爭のためにも、最早一刻を猶豫することが出來なくなつて、遂に勞働農民黨支部設置委員會の設立を見、加藤七郎、石津貞利の兩氏が公認候補として、勞働階級より立候補するに至つた。かくて、加藤石津兩氏の後述の樣な立候補共同宣言が發せられ、樂器爭議も解決して、愈々濱松市政に對する無產階級的な批判演說が各所に開かるゝに至つた。

七

鐵道從業員組合は、諸種の都合から、表面上、合同勞働組合との共同戰線より手を引いて、單獨に運動を起すこととしたが、支配階級側は早くも組合の結束力を切崩さんとし、先づ憲政少壯派に屬する工場附のお抱醫者を擁入候補たらしめやうとしたが、組合側の結束のために失敗し、次で發電所主任を立たしめたが、組合側は愈々結束して、支部長山口直弼氏を推薦し、猛烈に對抗するに至つた。

以上の他、辯護士大石力氏も勞働階級側を背景として起ち、樂器爭議當時に於ける勞働者側に對する氏の誠意ある盡力は一般に勞働者側より好感を以て迎へられてゐた。

又、下町の勞働者街を背景として立候補したものに、中村重吉氏及び今一人あつた。

かくて、定員三十六名に對して、立候補する者總て五十六名、內勞働階級側を背景とする候補者六名と云ふ狀態であつたが、そのうち純勞働者は山口君一人である。

この間、樂器會社々長天野千代丸も立候補し、御用組合勞働同志會を背景として策動したのは興味ある對照であつた。

八

かくて、九月三日選擧は執行され、四日開票の結果、山口

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

直弼氏得票三百三十七票第九位を以て當選し、加藤七郎氏は二百十四票第三十二位で當選し、石津貞利氏は落選した。しかし、大石力氏は二百九十四票第十七位で主として合同系の勞働階級の得票に依り當選し、中村重吉氏も第三十五位二百二票を以て當選した。勞働階級を背景とする候補者は二名落選し、四名當選するに至つたのである。その成績は左の如くである。

1、立候補率

議員定數	同立候補者數	内勞働階級を背景として立候補者	同割合
三六	五六	六	千分ノ十一

2、當選率

無産議員當選者數	同當選率	總平均當選率
四	六割七分	六割五分

3、得票數

當選者總得票數	同一人當り平均得票數	無産議員總得票數	同一人當平均得票數
一〇、六四六	二九五	一、〇四七	二六二

4、無産議員の割合

議員定數	無産議員	割合
三六	四	一割一分

右のうち、(1)(2)(3)は昨年度の三十六市の平均選擧成績よりいさゝか劣るが、その市會に於ける無産議員の割合が一擧一割一分强を占めたことは相當の成功と云ふべきである。

併し、我々はブルジョア流に徒に議員頭數のみを得んとするものではないからして、所謂無産階級議員が果して地方的な目的のみを意圖し、全國的な全階級的な政治運動として自己を理解してゐたか、更に一般大衆は如何等に就て考へて見たい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

九

山口貞弼氏(鐵道從業員組合濱松支部長)は、鐵道省濱松工場の鍛冶工であり、純勞働者である點に於て異彩を放つ。併し市民に對する立候補挨拶は、何等無産階級的な所がなく、多少、失望を感ぜざるを得ない。

尤も、それは一般市民に對して發送されたものであつて、結束して氏を當選せしめた從業員組合濱松支部は、前述した如き輸入候補に對する結束した反對、屢々の演說會等相當有效に活躍した。組合としては別に推薦狀、推薦理由書と言つた樣なものを出さなかつたので、その詳細な態度を知ることは出來ぬが、目下議員の爭奪盛んにして、ブルジョアの魔手漸く無産議員に延びんとするや、鐵道從業員組合は全無産階級のために無産議員を守るべく、猛然蹶起せんとして居る。尙ほ、山口氏の當選は、それ自身、未組織勞働者に對する組織の力を實證したこととなつた爲めか、選擧後未組織者の續々新入會を見、只さへ濱松工場に於て二十五パーセントに近い組織率を持つてゐた從業員組合は、今や確實に百パーセントたらんとし、そればかりでなく、組織運動は急激に濱松驛の方面にも延長し、車掌室、機關庫、保線區、驛、檢車場の五支部が近く來月あたりに發會式を擧げると云ふことである。この點何よりの收穫と云はなければならぬ。なほ、鐵道從業員組合本部の態度は、左の如き、六月十日第一回中央委員會宣言及び政治部組織大綱に於て知ることが出來る。

第一回中央委員會宣言　第六項

我が組合は國有鐵道從業員に勞働者としての立場より、政治運動をなし、組合員の政治的活動を指導す。

現下日本の無産階級運動は、從來の經濟的運動から、政治運動に轉換するの必要に迫られてゐる。鐵道從業員は、勞働階級の一員として、斯の如き一般的理由に依つて政治運動の必要に迫られてゐると共に、國有鐵道從業員として我々が提起する殆ど凡ての重要なる要求が、政治的要求であると云ふ特殊的理由に基いて、また政治運動の必要を深刻に感ずるものである。

かくて我が組合は、全從業員の利害を議會に反映せしめると同時に、地方自治體の政治運動に對しても積極的に參加する。何故なら、全從業員は盡く全國の自治體に屬し、且つその經濟的負擔が極めて苛重であるからである。

政治部方針に關する大綱

鐵道從業員の大部分は、半農(商)半官にして地方自治體に於て過當の經濟的負擔を荷つてゐる。この點よりするも、吾々は政治運動に對して決して無關心ではあり得ない。從業員の意志を市町村會に反映させなければならぬ。かくて從業員の利權は確立し得

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。

（現業公論　八月號）、

大驗是認せらるべきものであり、濱松支部はこの態度を踏襲したと認めることが出來る。

加藤七郎氏は勞農黨支部設置委員會及び濱松合同勞働組合所屬の主なる工場に於ける有權勞働者より公認推薦せられたのであるが、氏自身は少數ではあるが男女の勞働者を使用してゐる織屋であり、謂はゞプチ、ブルジョアである。併し、その石津貞利氏（氏も亦同じく出版業を營み、プチブルジョアである）と共に發したる共同宣言は、左の如きものであつて相當に注目に値する。

共同宣言を發表するに就て

吾々は今回勞働農民黨設置委員會に於て御推薦を給はりました既に個人的政見に於て發表してある通りもとより其器ではないが既成政黨の腐敗した其有樣を見せ付けられた時にどうしても奮起しなくてはならぬので立候補するに至つた次第であります思ふに今日迄の中央政治に對しても此市政に對しても金に選擧權があつて人に與へてなかつた爲に金持のみが市政に參與して居た故に無產階級の人達の爲に不利益が多かつたのであります幸にして普通選擧は施行されたに付て無產階級の人達も政治に參與し議員を議場に送るの權利を得た言ひ替へれば自分達の味方を議場に送る事が出來る機運に到達した

勿論自覺して居らるゝ無產階級の諸君が有產階級の人達を議場に送る樣な馬鹿な事もありますまいが私共兩名は決して之が普選でなければ選擧權さへもないものですが此の選に依て被選擧權及選擧權を與へられたので當選さして頂く事が出來ましたならば有產階級のみの利益を打破して公平なる議案を提出して大濱松の建設に努力せんとするのであります

我等の共同目標

一、戶數割の輕減
一、低廉市營住宅の設置
一、無料診療所の設置
一、無料宿泊所の設置
一、公會堂の開放
一、借地借家法の實施
一、自轉車稅の輕減

大正十五年八月

加藤七郎
石津貞利

併しながら、我々はそれにも增して勞農黨支部設置委員會及び濱松合同勞働組合等の發したる推薦狀其他の中に地方の日常問題を捉へて、それを全無產階級的に意義づけた賴もしい態度を見ることが出來た。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

聲明書

市民諸君、勞働者諸君、我々無產階級は現在の社會に於て、實に不利なる立場にある、これを經濟上の事について言へば、我々は每日工場で働いて、僅かの賃銀しかもらへない、その賃銀の中から、我縣に於ては、不當にも『職工稅』なる惡稅をとられる。又見よ、我濱松市の如き、自轉車を唯一の交通機關とする所に於て自轉車稅、或は不公平極まる『戶數割』橫暴なる家主による搾取！數へあげればきりもない。

諸君！現在の社會に於ては勞資の利害は完全に相反して居る、我々の立場を擁護せんがためとるべき我等の手段は鬪爭をのぞいて他には何にもない。我等は鬪はなければならない。

だが、諸君、我等は工場でもらう賃銀や或は勞働時間について資本家と戰ふ場合には、それは單に經濟上の事柄として解決され得る事もある。けれども若し我々が、職工稅に對して、自轉車稅に對して戰はんとするならば、それは政治問題となるのである。卽ち我々は直接に資本家と戰ふのではなく、市會、縣會、國會を通して資本家と戰はなければならない。言ひ換へれば、我々は我等の主張を主張する議員を市會、縣會、國會に送らなければならない。

更に諸君！現在に於ては、我々が政治上の鬪爭機關をもたなければ（市會、縣會等に我々の味方を送つて居なければ）一つのストライキと雖も我々に有利な樣には解決されない時代になつて居る！

この最もよき例は、なほ諸君の記憶に新たなる日本樂器爭議、無產階級の夢にも忘れる事の出來ないあの日本樂器爭議、これである。

諸君！我々は何故あの爭議に敗れたか！我々の團結の力が弱かつたと云ふのか？否斷じて否。我々はあらゆる力を協せて戰つた。たゞ惜しむらくは我々は市會が我々の敵となつた時、官憲が不法なる行爲に出でた時、これをどうする事も出來なかつた。我々は政治上では資本家階級の前に無力であつた。暴力團が狂暴の限を盡さうと、市會が、我々の膏血の結果たる五萬圓を我等の運動を彈壓せんが爲めに使用しやうと、我々はどうすることも出來なかつた。かくして我々は敗れた。我々は市會に我々の味方を送る事の必要をこゝにはつきりと感じたのである。

諸君！かくの如きは單にその一例にすぎない。無產階級に不利なる法律の幾百、不平等極まる稅金制度、市政を左右するブルジョア階級の魔手、我々は先に宣言したる如く『勞働農民黨』を組織すべく、其の準備機關を設立した。そして石津、加藤、兩君を公認候補とした。兩公認候補は市民諸君の爲に次の諸政策を發表する。

一般的スローガンとしては

1、議會の卽時解散と新選擧法による選擧制の實施
（今度の市會と同じ樣に普通選擧で代議士を選擧すること）

2、團結權の確認
（勞働者が勞働組合を造つたり百姓が農民組合を造る權利を法律で認めよ）

3、耕作權の確立
（小作人が永小作をする權利を法律で認めよ）

縣會に關するものとしては

1、職工稅の撤廢
（職工稅をやめてくれ）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

2、自轉車稅の撤廢
（自轉車稅をやめてくれ）

市會に關するものとしては

1、戸數割附加稅の輕減
（戸數割をやすくせよ）

2、低廉市營住宅の設置
（勞働者向きの貸家を造れ）

3、無料診療所の設置
（勞働者の病院を作れ）

4、無料宿泊所の設置
（無料の宿屋をつくれ）

5、公會堂の開放

6、借地借家法の制定

兩君が市民の爲めに諸君に發表せられたる諸政策が諸君の利益を擁護するものなるが故に我勞働農民黨濱松支部設置委員會はこゝに兩君に對して獨立應援をなす。

我々はこゝに、無產階級の主張を主張する議員を市會に送ることの必要をのべ、

兩君が勞働農民黨濱松支部設置委員會の公認候補となり、先の諸政策を發表し我々が獨立應援をなす事を聲明する。

勞働農民黨濱松支部設置委員會
事務所　上中島町二五六
（濱原　基。濱松市新町一二八）

又、濱松合同勞働組合有權者第二回大會も、次の如き意味で、加藤、石津二氏を推薦し、勞農黨支部設置委員會を支持することを聲明してゐる。

推　薦　狀

從來の政治が完全に財閥乃至特權階級に獨占されて居た爲めに吾等無產階級が如何に其の下に苦しんで來たかと云ふ事は等しく吾等の痛感する所である。勞働農民黨はこの社會的不公正から脫れんとする全無產階級の熱烈なる要求によつて生れたる吾等無產者の政治的團結である。

吾等無產階級の完全なる解放は吾等が全力を擧げて之を支持し强大ならしむる事によつてのみ招來されるのである。故に吾等濱松合同勞働組合有權者一同は擧つて勞農黨濱松支部設置委員會を支持し吾等の政治的要求の達成に努めんとするものである目下直面せる市會議員選擧に際しては吾等無產者の政治的利益のために現實に努力せらるゝ候補者加藤七郎、石津貞利二君に對し理解ある同志諸君の積極的應援を切に希望する次第である。

此の戰ひに於ける勝敗こそ政治的第一段階を步み出さんとする吾等新興無產階級の腕だめしである。

無產者候補者をして勝たしめよ！

吾等無產者の團結の威力を示せ！

又、他の有權勞働者の推薦の辭に曰く

これ迄の市會は資本家の手先であつた。日本樂器爭議の事を考へてもすぐわかる。それは何故であつたか。無產階級はだまされてゐたのだ。ブルジョア議員の口車にのつて居たからだ。無產階級は目覺めねばならぬ、今我々も、多年の犧牲の結果一票を得た、この一票をどうつかふか、相變らず、ブルジョア議員を選んで相變らず口車に乘せられて居るために使ふか。

否！　この一票こそ我等の眞の味方を市會におくるためにつかはねばならぬ。　眞に無產階級のしつかりした土臺（勞働農民黨）の上にたつた候補者を選ばねばならない云々。

かくて、勞農黨支部設置委員會の活動は、濱松無產大衆をして政治鬪爭の必要を覺らしめ、樂器爭議の全國的彈壓を例證することに依つて、只に一地方一市會のみならず、全國的

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全階級的政治闘爭の必要、從つて又勞働者農民の全國的單一政黨たる勞農黨の支持の必要を痛感せしめたのである。

然れども、尠く共勞働者の投票總數(俸給生活者を除く)四千一百に對して、無產階級候補者の得票數は幾何あつたかと云ふに、

山口(二三七)　大石(二九四)　加藤(二一四)　中村(二〇二)　石津(一二〇)　佃(一〇四)　計一、二七一

であつて、即ち、勞働者の投票總數の約三割一分のみが尠く共無產階級候補と稱する者に投じたことになり、(尤も之等の候補の得票が總て勞働者の投票ではないであらうが、假にさうだと見てさへ)、この三割一分のみが階級意識ある者であり、從つて爾餘の約七割は全く無自覺の徒であるか、然らずんば資本家に買收された輩である。日本樂器會社の勞農同志會の如きは、後者の最も代表的なものであり、それは社長矢野千代丸をして最高位を以て當選せしめたのである。之等の事實は、濱松の無產大衆の階級的覺醒がまだ悲しむべき狀態にあることを物語つてゐるものであるが、投票總數の約三割一分が無產階級候補に對するものであつた事實こそは、さきの二パーセントの事實(昨年一月乃至六月全國市町村會議員選擧)に比して、普選に依る無產階級を物語るものである。

準無產階級乃至プチ・ブルジョア層の變化として注目すべきは、先づ其方面の候補者が、無產階級側の同情を得るために出來得る限り、社會政策的な宣言を爲し、綱領を掲げたことであつて、無產階級有權者の一部は、正確な批判を持ち得ずして、確かに之等の徒に彼等の所謂「一票」を投じたことであらう。更に、純然たる資本家にして、樂器爭議の例を擧げて勞働問題に言及し、その罪の一半を勇敢に資本側に歸せしめて、勞資協調を長々と說きたつることに依つて、凡らゆる階級よりの支持を期待せんとした候補者もあつたが、不幸にして彼は落選した。要するに、プチ・ブルジョア層に對して警戒すべき事は彼等が常に甘言令色を以て、無產大衆を自己の味方に引き入れんとして居ることである。濱松市會に於ける今後の事態の推移は此點に關して特に注視する必要があり、若し、所謂無產議員と濱松市の全無產階級との緊密なる連絡、若しくは看視を怠る時は、選擧の際折角獲ち得た無產大衆の成功と希望は幻滅を餘儀なくせしめらるゝであらうやうな悲觀的な徵候もなきにしもあらずと云ふ狀態なのである。ブルジョアの蜘蛛の巢の中に送り込んだ我等の議員は、その絲に絡められてしまはない樣に、絕えず我等の方からも絲を引いてゐなければならぬ。

かうした危險を防ぎ、眞に無產階級代表議員をして議政壇上にブルジョア議員と鬪爭せしむるためには、どうしても、單一無產政黨勞働農民黨の存在と、その强固なる發達の必要が痛感せらるゝのである。勞働農民黨——而かも今日の樣な左翼團體のすべてを排斥してゐるやうな勞働農民黨でなく、實質上全無產階級の單一政黨たる勞働農民黨の發達なくしては、無產階級は一地方自治體に對してすら、その意志を自由に反映せしむることは出來ないであらう。

(一九二六、九、一七於濱松)

其他、新普選法に對する無產階級運動に必要なる法律上の知識を得たのであるが、紙面の都合もあり、多少複雜ともなるので、割愛することにした。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

國內戰線

關東地方評議會合同大會開かる。

勞働農民黨第三回中央委員會に於ける三團體排斥、總聯合運動の挫折、來る可き全無產階級的政治運動等を前にし、一方右翼幹部の分裂政策の曝露、左翼戰線の不整備等の事實に直面し、最近左翼の戰線內部には、從來の消極的退却の態度を棄てゝ、積極的進出の議論を生むに至つた。先月二十九、三十兩日に亘りて大阪に於て開かれた評議會中央執行委員會は此方針に基いて、「勞農黨三團體排斥に就いての聲明書」「全國勞働組合會議に關する聲明書」を發表し、更に會員に此趣旨を撤底し、外部社會に向つて態度を宣明する爲に、各地方評議會は成る可く大會を開いて、以上の決定を公然の討議に附するの方針を執り、先づ九月十九、二十兩日關東地方評議會合同大會が芝協調會館に開かれた。

先づ其議事日程を揭ぐれば次の如くである。

一、勞働農民黨對策に關する件
二、木崎村其他小作爭議に關する件
三、組合運動統一に關する件
四、ブルジョア議會對策に關する件
五、濱松爭議に關する件
六、勞働組合法獲得に關する件
七、總選擧及地方自治體選擧に關する件

以上の如き合同大會の性質に依つて、同大會は一般に左翼戰線の裡にある者は勿論一般の者に取つても極めて注目す可き性質のものであつた。是は評議會が從來我國の無產階級運動の上に占め來つた地位に依るものであること勿論である。

同大會出席代議員二百十餘名、本部の任に當つた者は關東地方評議會幹部は勿論、總本部役員も多數來場を見、評議員政治部長國領氏は自ら一般報告として、中央執行委員會決議案の說明に當つた。

先づ最初に中尾地方評議會執行委員長の挨拶あり、其要旨は、我國資本主義の一般傾向に關する評議會の觀察あり、最近我國無產階運動內部に現れたる重大なる變化、卽ち勞農黨第三回中央委員會に依る三團體排斥、總聯合運動の挫折等の事實による意識的な右翼幹部の分裂政策の露骨なる發現、此左右比重の變化に依る中間派組合結合の企圖等に論及した、此中間派の問題は同大會を通じて、甚大なる注意を代議員に拂はしめ、評議會全體が如何に此問題により刺戟を受けたるかを明確に觀取せしめた。吾人は後に於て、同大會が此問題に對して如何なる結果に到達したかを總括するであらう。

次に國領本部政治部長の一般報告幷に本部中央委員會の決定幷に決議案に附き、一々詳細なる說明を試みた。本決議案は、單一無產政黨として成立した勞働農民黨の最近の發展傾向が、小ブルジョア的議會主義政黨への轉化の形勢にあること、又右翼幹部の裏切りに依つて如何に大衆の興望と離反したるか、又三團體排斥が如何に此形勢を如實に物語るか、何故に此と鬪はねばならぬかを痛烈に批判したるものである。本決議はまことに堂々たるもので根本的の批判に亘つて居り、黨中央委員會に於ける日本農民組合選出中央委員の政策に對して、痛切に其政策の誤りを指摘して居る。本決議の討議に當り、代議員中より、決議案中に數ヶ所勞働農民黨が既に小ブルジョア黨に轉化したと述べられて居るが、本部は斯く信ずるかと云ふ質問が出た時に、斯る轉化の傾向に向つて居ると解す可きが正當であると述べられた。本決議案は後に至つて、所謂中間派結合に對する對策が附加さるに至つた。

勞農黨對策の件に就いては、三團體排斥

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

運動に關する件と支部承認問題丼に支部組織に關する件に分れ、後者にありては、支部承認問題に關しての修正は何等本質上の變化ではなく、支部組織の件に關しても、兎角の議論は出たが、本部の決定通りに多數を以て通過した。

ブルジョア議會對策の件に附いては、議會解散の請願運動を全國的に行ふことが決定され、其スローガン、實行方法が決定された。

勞働組合法案獲得に關する件に就いては、提出議案を可決し、運動方針を決定した。

總選擧及地方自治體選擧に關する件にありては、「選擧運動に於ては明確な階級的スローガンに掲げること……凡らゆる場合に妥協することは選擧運動の無産階級的利用の方法を誤つたことになるので反對せねばならぬ」と決定された、運動方法にありては、候補者擁立の場合に、ブルジョア候補者と右翼の候補のみしか無き場合に、右翼の候補者に對しては「無産階級の立場から徹底的に批評すること」と議案にあつたのを、左翼の候補者無き場合は、一應右翼の候補者を支持するか、批評の自由を確保すると云ふ風に具體的に改められた。

全國組合會議に關する件は最後に重要なる議案であつた。是に關しては、中央執行委員會の決議案があり、是に基いて、具體的議案が提出された。大阪の勞働組合會議準備會が失敗に終つたのは、(一)大衆への宣傳が足らなかつたこと、(二)中間派組合へ積極的に連絡を働きかけなかつた事等が指摘されて居る。討議中に於ては、當時の左翼が積極的方針の下になかつたことが失敗の一因であると述べられた。

而して今後の對策としては、(一)各地の組合會議を更に充實すること。(二)無産團體協議會を勞農組合會議に再組織すること。(三)政治運動の方面から此氣運を促進すること。等と述べられて居る。要するに下からの協同戰線に努力しなければならぬと云ふにある。右翼總聯合の機運の見えかけて居る今日、此に對しては極力反對し、是に對して全無産階級的見地から對抗しなければならぬと云ふにある。本問題の討議に當り、中間派の問題は重大問題と見做され、「中間派組合の内部は左右兩翼の對立益々激しく爲めに積極的に組合會議結成の統一的運動が困難を來して居る」と述べられて居る。さもあらばあれ、所謂中間派組合の問題に關しては、斯る企圖は、全無産階級的ならず、特に其意識の上に於て危險なるが故に、極力反對す可しと決定された。さり乍ら、所謂中間派に對する政策は左翼に重大問題であり、所謂中間派結合の限度、其組織形態、左翼との連絡等を明確に認識しての討議は餘り見附けられなかつた如くである。此問題の限りに於ては、同大會は最終の決定を必ずしも與へたものではないと見るを妥當とす可きであらうか。

市電の分裂反對同盟の現勢

市電自治會の分裂は大なる危憂を以て見られ、本誌九月號に於ては四五千の勢力を獲得するものと見られたに過ぎなかつたがその後の形勢は、寧ろ意外な發展を見た。即ち、約三分の二、八千七百餘名は全くこの新しき同盟の傘下にあるに至つた。

現在、本部の統制下にあるは、工場約八百、車庫約八百、軌道約五百に過ぎず、赤坂、廣尾等は暴力を以て統制せんとしつゝある支部も、六割方は新同盟に好意を示すに至つてる。

例へば、廣尾では、さきに無實の罪に落され様とした小野君の復職と共に形勢は一轉して來た。赤坂でも一個の組總合は公然と反對同盟に加盟してしまつた。

また、郊外部では、京濱を除いては殆んど全部新同盟に屬する。

而して最近大阪自助會、横濱共和會が、内紛調停に立つてると言はれるが反對同盟の條件は當然中央委員會の決議撤回を要求するから、中々困難とされ、結局は、反對同盟大會が催されて新たに展開するものと見られて居る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ロシアに於ける勞働者教育の回顧

クルプスカヤ

一

我が共産黨は、アジテーションやプロパガンダの方面にかけては、非常に多くの經驗を有し來つて居る。我が黨の著しき特色は、黨の各成員が何れも積極的な仕事を遂行する義務を有してゐたことであつた。二十年以前同志レーニンは、彼の著書「何を爲すべきか」の中で、黨の各成員は何れも黨の仕事に對して積極的に參加すべきものであることを力說した。一九〇三年の黨の第二回大會に於て、ボルシエギキとメンシエギキとの分裂の原因となつたものは、黨の成員に關する問題であつた。同志レーニンによつて呈出された條項に曰はく、黨の各員は、只に黨の綱領に同意するを要するのみならず、また黨の組織の一に積極的に參加することを要すと。他方マルトフの主張は、黨員は黨の綱領を承認し、黨の指導の下に活動すべきものであると云ふにあつた。一見したところ兩者の意見の相違は、極めて些細なもののやうに見れた事實多くの同志は、當時、この全論議は重要ならざる細目にわたるものであつて、何等重大な背景を有せざるものであると考へて居つた。然るに黨の其の後の歷史、右の論爭點が極めて重要な意味のものなることを立證した。黨の各成員はアジテーション及びプロパガンダの領域に於て働らくか、或ひは又組織の仕事をやるかする義務があつた。私は先づアジテーションの問題からはじめる。

二

共産黨は、そのアジテーションに對する固有の組織のおかげで、大衆の間に巨大な影響をかち得ることに成功した。アジテーションは感情(センチメント)と情緒(エモーション)とに訴ふることを主眼とする。アジテーションによつて、廣汎なる大衆が黨に引き入れられる。アジテーションの問題がはじめて起つたのは、大々的經濟運動があらはれ始めた時であつた。最初の大規模なアジテーションは、勞働者階級の物質的條件の改善の爲めの鬪爭に際して行はれた。それは前世紀の九十年代のことであつた。その當時我が同志の多數は、鬪爭のかゝる特殊的な形に餘りに多くの注意を向けすぎた結果、謂はゆる「ミスル」派と云ふ特殊な黨派を生ずるに至つたのである。此の派は大衆の直接的、元素的運動の意義を過重に評價した。彼等は彼等のアジテーションの絶大の成功に餘りに心を奪はれ過ぎて、理論は全然不必要であること、勞働者の元素的な運動が全部であること、を確信するに至つた。この「ミスル」派は極端に走つた末、マルクスやエンゲルスは我々に不要である、勞働者階級は此の兩人なくとも社會主義を成就することが出來る、と云ふかの有名な思想を表白するに至つた。當時黨はかゝる傾向に對して激烈なる抗爭を試みた。當時起つたところの今一つの問題は、如何にして我々のアジテーションを深むべきかと云ふことであつた。此の論爭も亦上と同時代に、即ち三十年前に起つたものである。當時我が同志の一部のものは次の如く主張した、曰く、我々はアジテーションを强行すべきではない、我々は大衆の間に即時の反應を見出すが如き問題に我々自身を制限すべきである、と。當時大衆は大概經濟問題に關心を有してゐた、そこで我が黨員のあるものは、我々は我々自身を鬪爭の此の形相に限局すべきであり、我々のアジテーションに於てそれよりも先へゆき過ぎてはならない、即ち我々は現に勞働者階級の到達してゐる水準に止まるべきであると主張した。

之等の人々は即ち謂はゆる經濟主義者(エコノミスト)(「勞働者の目的(ラボチエヂエル)」の一群)であつた。彼等は主張して曰く、我々のアジテーションを深めることは不必要である、勞働者階級の背後に追隨してゆくことが我々の爲すべき仕事の全部である、と。此の頃「イスクラ」の一群(グループ)は、かゝる傾向に對して、極度に決定的な、激情的な抗爭を遂行した。何となればそれは最大の害毒をもたらすべきものであると考へたので。實際、もし黨がかゝる經濟主義者の立場を採つてゐたならば、黨は大衆を指導してゆくことは出來なかつたであらう。

黨をしてアジテーションの價値を正當に評價せしめたものはマルキシズムであつた。如何にして我々はその仕事をやつて行つたか。我々は常に我々のアジテーションの中心點を限定した、それは中々時間がかゝつた。九十年代の終りに於て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は經濟的要求が我々のアヂテーッションの中心點であつた。一九〇五年には中心點は勞働者階級の政治的要求であつた。而して最後に、世界競爭の當時にあつては、戰爭が中心點こなつた。我々はアヂテーター中の優秀なる分子を集めて一群こなし、其處で我々は我々のアヂテーションに關する凡ての問題を討論した。我が黨は戰爭中巨大な仕事を成就するこごを得た。その故は之に先だつ時代に我々がアヂテーションに關する一切の問題に對して最大の注意を向けてゐたからである。アヂテーションの形態(フォーム)を論ずる場合、我々はまづ第一に言葉でのアヂテーションを考へるであらう。併し乍らアヂテーションの成功は辯論者の雄辯や、技巧的能力に依るよりも、むしろ、如何なる程度までその問題が大衆に對して生き生きした關心を起させ得るかの、より多く依るのである。

三

我が黨には、此の他に、いま一つの傳統がある。即ちたゞにアヂテーションのみならず、またプロパガンダが我が黨に於ては大なる役割を演じたのだ。我々のアヂテーションが多くの大衆を引きつけ始めるやうになつた頃の以前に於ては、我々は我々の非合法的な團體(サークル)の內部でプロパガンダに從事した。通常マルクス研究者は此の團體に來つてマルクス、エンゲルスを讀み、當面の該問題に關する討論をやる、こ云ふ風になつてゐた。彼は文明史や經濟學について語つた。かゝる傳統は勞働者階級の中に、單に成人勞働者のみならずまだ若い人々の間に、深く根を張るに至つた。私は偶然にも次のやうな事實を見聞したここがある、僻遠の一村落に於て、少年の女が先生に、彼等が嘗てかゝる團體(サークル)で習つたこごのある題目を、即ち經濟學や文明史を、教へてくれこ要求してゐるのを。彼等は考へた、かゝる研究なくしては救ひはあり得ないこ。之等の團體に於ける研究は、極めて屢々逮捕によつて中斷された。そして勞働者は追放や牢獄に於て自己の教育を完了しなければならなかつた。我が黨の傳統こして、獄舍こ追放の地こは一種の大學乃至學校の如きものこなつた。後年著名の指導者こなつたやうな人々は、其處で確固たるマルキシズムの修業を積んだのである。『勞働者の目的(アルボチェデル)』の一群(グルーブ)はプロパガンダの重要なる所以を理解し得なかつた。同志レーニンは、彼等この論戰に於て、エンゲルスが『ドイツ農民戰爭』の序文の中で勞働者階級の經濟的運動ならびにその政治鬪爭こ並行して、理論的基礎工事が之に劣らず重要であるこ述べてゐるここを指摘した。共產黨はアヂテーションこプロパガンダこの問題を、嘗てその基礎的な仕事から切りはなしたここ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はなかつた。アジテーションとプロパガンダとは黨の本質的な仕事を形成してゐた。

四

現時に於ても、即ち黨が合法的のものとなり、勞働者階級が權力を握るやうになつても、凡ての我が教育活動、勞働組合に於ける我々の仕事は、同じ傳統によつて浸透されてゐる。

我々は今日一般に根本的過渡に當面しつゝある。革命の最初の諸年に於ては、我々の全注意は戰線に於ける、及び全人口に對する、アジテーションに集中された。我々が經濟的建設の仕事に入つたところの現時に於ては、より錯雜せる性質の諸問題が前面にあらはれて來た。今やマルキシズムの理論ならびに研究に就ての關心は、極度に激甚である。私は政治教育本部で働らいてゐるのであるが、其處で私は次の事實――大衆は今日基礎的教育を熱烈に要求しつゝあると云ふ事實の豐富な確認を毎日入手する。これは全く自然なことである。

一九〇五年革命は大衆を驅つてどん底まで赴かしめ、全國を擧げて騷亂の巷たらしめた。それにつゞいて反動の數年が來た。之等數年の間にインテルゲンチアは意氣沮喪した。彼等は、革命の一切の獲取物は失はれ、勝利の希望は何處にもないものゝ如くに想像した。併し乍ら大衆は革命を忘却するやうなものではあり得なかつた。一九一二年レナ事件が再び大衆を起たしめ　こと、それが大衆のより強く成長し來つてゐることを立證したこと、を我々は見た。此の時代を通じて、巨大なる内部的仕事が暗默の間に進行しつゝあつた。

革命の印象は大衆によつて想起され、消化された。そして一九一二年大衆は、我々が一九〇五年に見たところのものとは全然異なる現象を呈露した。現在に於ても之と同一の過程があらはれつゝある。我々は大衆が彼等自身の中へ引き取つたのを見る。現在に於ては全注意が、革命の征服の下に此の物質的基礎を建設する事に集中されてゐる。併し乍ら此の物質的基礎を建設することは、人的要素の轉形と、より高度の教養的水準にまでそれを高めることゝ、仕事の習慣の變改と全心理の變化とに密接に結びついてゐる。

今日我々は一の決定的な段階――一の深刻なる、内的にして打ち勝ち難き仕事が大衆の間に進行しつゝある處の――を經過しつゝある。ロシアの勞働者階級ならびに勞働者青年は、現在自己教育に沒頭しつゝある。此の事は我々を充たする次の希望――世界革命の到來の曉に於て、我々は直ちにその急に赴くだけの準備がある、と云ふ希望――を以てするものである。（LM譯）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

インタナシヨナル・ノート

獨逸に於ける王室財産沒收問題

吾人は本誌五月號、六月號に於て、インターナショナルの記事として獨逸共産黨に關するものを載せたが、最近獨逸に於ては王室財産沒收問題なるものが起つた。蓋し、獨逸の政情は安定せず、舊官僚、軍閥幷に大ブルジョアジーは、共和政を覆して、王政又は獨裁政治を行はむとし、勞働階級は資本の攻勢に壓迫され乍らも共和制を維持し、益々左翼化の傾向にある、外交的には、米國幷に西歐とソビエット、露國の牽引力の中間に立つて引き摺はされむとして居る。勞働階級の傾向も是に照應した形勢が歷々として見られる。卽ち勞働階級の左翼化は直接には、社會民主黨の活力回復ともなるのである。共産黨の戰術がインターナショナルで問題となるは是が爲である。

王室財産沒收問題は、プロシヤ及帝國内各王室の財産を卽時沒收せんとするもので、前に豫備的一般投票を行ひ、今年六月二十日更に一般投票を行つた。此投票の重大なる意義は、其が今日獨逸内に於ける政治的形勢の階級的比重を示す點にある。と云ふのは、王室財産沒收一般投票は、社會民主黨勞働者をも含めて、獨逸勞働階級の官僚軍閥大ブルジョア、ファシスト、反動主義に對する全階級的鬪爭の一大題目であり、廣大なる協同戰線の具體的題目なるが爲である。反動政府幷にブルジョア議會に反對し、革命的形勢を進むる爲め一指標たるが爲である。

此一般投票の結果は、賛成投票として、共産黨及社會民主黨の得たるもの、一千五百萬票、而かも所定の投票數に達せざりし爲、沒收案は成立しなかつた。今回の投票に於ては、前回一九二四年の選擧に於ける共産黨及社會民主黨の得たる投票數を超ゆること四百五十萬、又同選擧に於ける共産黨及ワイマール併合（社會民主黨、民主黨中央黨）の投票に及ばざること六十二萬、大統領選擧に於てヒンデンブルグの得たるものより多きこと三十五萬である。卽ち前回の選擧幷に大統領選擧の場合の投票の約五十パーセントに當り、二五〇人の議席に該當する。以上の外豫想さるゝ投票數は二千五百萬（全體で四千萬）であり内千萬は一般投票に反對であり、數百萬の小農、小作人、カソリック勞働者、農業勞働者、小ブルジョア大衆は内心沒收に賛成であつて、彼等の投票を阻止する爲には强力を用ゐねばならぬ。將來獨逸ブルジョア諸黨千五百萬を獲得したならば成功とす可きである。

以上の如く、此選擧の結果は獨逸政界の階級的構成を明確にしたものであり、無産階級側の勢力の增大を物語るものである。本案は共産黨の提唱に依り、社會民主黨は其勞働者の傾向に壓迫されて本案に追從したのである。故に此投票の高は共産黨の聲價のバロメーターであつたのである。社會民主黨に此鬪爭を純粹に議會内に押込めて、勞働者を裏切らうとして居る。然し一方勞働大衆のみならず、小ブルジョア階級、農民まで本案に賛成し、無産階級側の共同戰線に投じようとして居る。本案の效果は或意味に於けるロシアに於ける憲法會議投票にも比較す可きものであらう。

セラチ死す

最近の外電はイタリーの社會主義者セラチの死を報じて居る。彼の生年、享年、生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

他等は只今は詳にすることは出來ないが、彼の政治的經歴を略記すれば次の如くである。彼は永い間イタリー社會黨の首領であつて、戰時中は尙統一を保つて居た同黨の左翼に立つて居た。彼はイタリー側を代表して、チムメルワルド會議に參加し、勇敢なる戰爭反對者として投獄されたこともある。戰後に於ける彼の功績は、當時大衆的政黨に發達しつゝあつたイタリー社會黨の第三インターナショナル加入を實現し、同インターナショナルが西歐に於ては小黨の結合たる觀を打破したことである。然し乍ら此時からして彼の悲劇的徑路は開始されたのである。彼は革命的マルクス主義を徹底的に理解することが出來ずして、革命的形勢の下に於ける彼の黨の役割を理解せず、改良主義分子を黨外に放逐することは出來なかつた。此に就ては、レーニンが彼の政策の不徹底を論じたことに就いての有名な往復文がある。是に依つて、一九二〇年八月、九月の工場占領事件に敗退したのである。是に依つて、黨の共產主義的分子と彼との間に間隙を生じ、彼は一九二一年リボリー大會に於て、社會黨統一の最後の試を爲し、共產主義者と結合する代りに改良主義者と結んで、「マルクス主義統一者(セラチ主義)」を作り出した。此時共產主義者は社會黨から分離してイタリー共產黨を作つた。而して彼が此誤りを悟つた時には、既に遲かつた。ムッソリニのローマ進擊の少し前に、イタリー社會黨は改良主義者を放逐し、(一九二二年ローマ大會)共產黨インターナショナルに復歸するに決し、彼は其第四世界大會に出席した。斯の如き苦しき經驗の後、彼の黨は一九二三年ミラン大會に於て少數派となつた後、イタリー共產黨と合同するに決した。彼は彼の重大なる過失を認め、其死に至るまで共產黨と行動を共にしたのである。而かも彼が犯したる過失は大きく、イタリー勞働運動に於ては、彼は最早能動的役割を演ぜず、共產黨インターナショナルに於ては靜かなる參與者として止つた。然し、改良主義者並に其中堅なるマキシマリストに對しては、死に到るまで攻擊を革して居たが、是は彼自身の過失を攻擊するものともなつた。要するに、彼の如き知名の社會主義者が、斯の如き悲慘な失敗を以て其生涯を閉ぢたのは一に其の行動の不徹底、原則の不確立に在るのは明かであるが、吾人は、戰時戰後を通じて激動するイタリー勞働運動の一方の代表者として、彼の業績を回顧すると共に、彼も亦一個の運動の潮流の表徵として、彼の死に同情しなければならぬ。

露西亞共產黨の分派

露西亞共產黨の分派に關してはブルジョア新聞並に一部の勞働側出版物(右翼側)は業々しく報道して居るが、實情は以下の如きものである。

現在の所分派と云ふよりも主として統制の問題であつて、二個の方面が問題となつて居る。即ち露西亞共產黨の前回(第十四回)の大會に於ける意見の相違からして、分派的活動が一部で行はれつゝあつたのと、地方ではバクーを中心として、嘗つての「勞働反對」の再燃とも稱す可き小グループが出現したことである。

前者に關しては、七月中に開かれた、共產黨中央委員會全員會議に於て決定を見た。其は主として、中央委員候補同志、ラチエヴッチ、中央委員會及共產インターナショナルの協力者同志ヴイレンキーに關す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

るもので、第十四回大會の決議に反して、秘密集會、黨の秘密文書の印刷頒布、各地への使者派遣等によりて分派的活動を促進せんとし、是が同志ジノビエフの主宰する共產黨インターナショナルの執行部迄波及せんとしたのである。中央委員會全員會議の決定は、第十四回大會に於ける反對の主唱者であり、其與黨が共產黨インターナショナル執行部を利用して、各國共產黨の內に反對宣傳を爲さんとしたのに對し、批判せず、分離しなかつた同志ジノビエフに對して、政治的責任を歸し、中央委員會政治部員から退かしめ、同志ラチザヴイッチを中央委員候補から選発した。同志ジノビエフの代りに、同志ルチュタクを任命し、現在の政治部員は、スタリン、ルイコフ、ブハリン、トムスキー、カリニン、モロトフ、ルチュタク、トロッキーの八名である。要するに此分派的活動は極少數の者の間に行はれたもので、主として統制の問題であつたのである。

後者に關しては、「バクー反對」と稱せられる地方的小グループであつて、其の先頭には「勞働反對」の時の「指導者」同志メドウエドイエフ、シュリヤプニコフが立つて居る。此グループは寧ろ現在の共產黨の政策に根本から反對する傾向を執るに至つた。此分派は寧ろ共產黨の範圍から拔け去つたもので、大なる影響を黨に及ぼさゞるは勿論のことである。

對香港和議開會に際しての廣東政府代表の宣言

昨年五年三十日の事件を端として、既に一年半に延る所の廣東の對英罷業は、双方の歩みよりに依つて七月には、遂に平和談判開始にまで漕附け、その十五日には和議開會を見るに到つた。但し英國代表は本國政府の訓令を仰ぐことを要求し、現狀を打開し得ずして停頓して居る。本宣言は陳友仁氏が廣東政府を代表して、其席上で發表したもので、頗る意味深きものである。

『本日正式會議開會に當り吾人は吾人の政府を代表し英國代表に眞摯なる歡迎の意を表すると同時に又吾人は吾人を任命せる政府の希望、——卽ち吾人がその解決すべきを命ぜられて居る所の問題は、實在的意義と精神並びに一方兩廣に於ける英國々民に、彼らの貨物と事業に友誼的な且つ有利な市場を保證すると同時に、吾人の政府によつて代表さるゝ如き支那國民が支那を統一し近代化する仕事を阻碍なく進行し、且つ此新しい基礎の上に外界との關係の偉大なる組織建設に奮闘し得る樣な條件の下にその解決を求むる決意で交涉さるべきものである、——との希望を表明せんとするものである。

現在我國內に於てめざましい實際の變化が社會的に、經濟的に、又政治的に明かに起りつゝある。がこれらの變化は要するに構成上の整理言ひ換ふれば社會的集團として認識された支那人と現代世界といふ、より大なる組織に對する決定的參加から生れる彼等の新しい環境との間に意識的に或は無意識的に建設されんとする新しい均勢なのである。

但しこれ等の變化が支那人にとつて善か惡かといふことは、彼らが國際的共同管理に適したピープルとしてゞなく、眞實獨立せる國家を爲すものとして認めらるべきものであるならば、それは彼等自身に於て決定すべき問題である。

いづれにもせよ兎に角、それは「支那人が自ら己れを救ふ道を開いて行かねばならぬ時は來た」といふ國民運動——、新しい均勢を基礎づけ支持しつゝある最大の力たる——の根本的題目である。

今日國内の大部分は今日あまたの權力者——封建的で從つて外面上に於ても手段に於ても反動的な——の支配下に不幸な境遇に置かれてゐる。だが然し智識階級、學生、勞働者及新しい農工商團體等によつて代表された國民の活動的分子——つまり最後の種々な事情から政治的活動分子として表面に現はれて來た階級——は獨立國家に對する此權利の主張に於て全く廣東國民政府と協同してゐるのである。

支那に於ける諸問題刻下の進行が何うなつて居るにもせよ、支那の國民運動によつて一旦明るくされた燈明は決して絶滅するものでない。隨つてそれは此國の國内的及び國際的政策の永續的實在と認むべきものである。

これらの事情の下に、英國の如き國家の新しい支那に對する態度は何うあるべきものだらうか？ 人々の中には英國の有するものは如何なる犧牲を拂ふとも、支那に於て之れを保持せねばならぬと主張する向きがある。かゝる主張は所謂極端な保守派のそれといふべきものであつて、過去と、そして凡ての活きた經驗はそれが變化に對す妨碍を助成し、軋轢爭鬪を助成し、引いては戰爭をすら助成するものなるを物語つて居る。然かも戰爭なるものは決して現代の狀態を眞實解決するものでないのだ。

かふした態度——既に崩壞し或は崩壞しつゝある樣な事情をもつ過去の中に於て、而かもかくの如く深く根ざしたところの——に反し、又一面には變化しつゝある支那——實際的組織の下に於ける財源及人工力の本來の力と無限の可能性を自覺した政治的活動分子の新階級出現による——を考へて居る人々もある。かゝる考へは勿論各友邦の側に於て現實的綱として支那の背景に對する新しい見解と、そして支那對列國關係を確立する新しい政策——一八四二年當時の敗戰國として支那を遇する舊い歷史的基礎に於てゞはなく、荀くも獨立の國家であり獨立の主權國である限り、平等の主義により國家關係を基礎づける今日の世界組織に基づく所の——を要求するものである。』

吾人は所謂支那問題に關する此ステートメントは支那に於ける純然たる通商國の實際的利害に何ら根本的反對を與ふるものでないと信ずる、從つて英國が他の獨立國家に對して爲すが如く純然なる通商——單に物貨を販賣し或は購入すると言つた——に從事するものとせば支那の國家主義並にその權力、その成功の手段として形に表はれた國民政府は必ずしも我國に在る英國人にとつて危險なものではない。

本問題に對する途上の見解が若し正しいものとせば、威信とか所謂『面目』といつた考慮により眞の實際問題——人間の忍耐、善心、及びその常識を試むる爲め、皮肉な妖精の樣に、歷史の上にしばしば現れてくるところの——の一である具體的解決が妨げらるゝ如きは許されない筈である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

講話

國際カルテルと資本主義

大森義太郎

たしか八月中だつたと思ふが、新聞の經濟欄に、フランス、ドイツ、ベルギー及びルクセンブルグの一流の製鋼業者を網羅する歐羅巴の「大製鋼トラスト」が出來るといふ記事の出てゐたことを、讀者は記憶せられるであらう。それが、わたしがこゝで取扱つて見ようと思ふ「國際カルテル」の一つのよい例である。

世界經濟は國際カルテルを生んだ

こゝでまづ言葉の説明を、ちよつと、して置きたい。トラスト、カルテル、シンデイケートと言葉はいろいろあるが、要するに、競爭から生じる不利益を免れようとして、企業者の間に結ばれる協定の形態たる點については同じことである。たゞその協定が強いものであるか。或は弱いものであるかによつて、そしてまたいろいろの國における言葉の使ひ方によつてその間に違ひがあるだけのことである。

さて、資本主義は――讀者がよく御存知のやうに――自由競爭を以つて出發した。これを企業についていへば、企業者は少しでも多くの製品を賣捌き、少しでも多くの利を獲ようとして、あらゆる秘術を盡して對手を打負さうと、お互に激しい競爭をしたのである。

しかるに、この自由競爭の經濟は、資本主義が展開してくるにつれて、固定資本の增大、企業の集中によつて獨占經濟に變つてきた。前には多くの企業者があり、その間に競爭が行はれてゐたのが、こゝになると、僅か數人の資本家、企業者が市場をば獨占的に支配することになつた。その獨占の一つの形態がトラスト、カルテルである。そして、これも讀者が既に知つてをられることゝ思ふが、トラスト、カルテルの內容は、生產の制限や最低價格の決定、各自の販路などに關

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する、企業者間の協定である。

このカルテル、トラストは、最初は主として一國內の產業に限られてゐた。そして、かうした獨占經濟は——國によつて違ひはあるが——遲く見ても、二十世紀の初頭には既に始まつてゐた。

ところで、一方資本主義の發達は、從來の主として經濟が一國に限られてゐた、いはゆる國民經濟からして、世界經濟に移つた。そこでは、ちようど一國において多くの個人企業が國民經濟の一部分をなしてをるやうに、多くの國民經濟そのものが世界經濟の一部分として始めてその存在を保つてゐる。いかなる國民經濟も他の國民經濟を俟つてゞなくては、世界經濟によつてゞなくては成立しゐない。經濟生活が國際化された。經濟上のあらゆることが世界的規模において行はれるやうになつた。

かうなると、カルテル、トラストも一國內にとゞまつてゐたのでは效果がないことになる。なぜなら、いまや企業者にとつては世界市場が問題であるのに、單に國內だけのカルテル、トラストでは、外國の企業者との競爭を避けることができないから。そこで、世界經濟の時代において獨占的利益を享受しようとすれば、どうしても、國境を越ゑて遠く外國の企業者、資本家と手を握り合はねばならない。かうして出てくるのが國際カルテルである。また國際トラストである。

結合は極めて低度

それでは具體的にどんな國際カルテルがあるかといへば、重工業を始めとしてほとんどあらゆる產業に亘つて、かなりの數に上つてゐる。二三のものを擧げれば、——ドイツ、フランス、イギリス、ベルギーのカルテル及びイタリー、オーストリーなどの個人企業者によつて組織されてゐる「國際レール、カルテル」、「國際亞鉛カルテル」、「獨白セメント•シンディケート」、「製罐カルテル」、「國際火藥カルテル」(これにはドイツ、オーストリー、イタリーギリシャ、ベルギーの個人企業者が加つてゐる)「エナメル器具カルテル」(ドイツ、オーストリー、チェック、ポーランドにおける工業から成る)などである。

さらに、內容について見ると、「國際レール•カルテル」は市場をば三つに分けてゐる。第一は保護市場で、これはその國の市場を完全にその國の生產に委するのである。第二は留保市場で、フランス及びイギリスの植民市場はそれ／＼の國に、その代りにスウェーデン、ノールウェー、デンマルクは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ドイツのために留保され、ドイツはこゝで優先權をもつ。他はベルギーのために留保されてゐる。第三は自由市場である。また、「製罐カルテル」は「オーウェン製罐特許權」の共同購入を目的としてゐた。「國際火藥カルテル」は最低價格の決定、品質の保證を、「エナメル器具カルテル」は共同出資、價格協定をその內容としてゐた。

これでもわかるやうに、國際カルテルは主として販路協定——市場の分割である。よく云つて、價格決定がせいぜいである。嚴密な生產協定をやつてゐるのは極めて少數である。最初にあげた、こんどの製鋼トラストは生產協定をやらうとするらしいが——新聞によると、年產九〇〇萬噸のうち、ドイツは四三パーセント、フランスは三七、ベルギーは一二パーセント、殘りはポーランド、チェック、オーストリで受持つといふことになつてゐる——ベルギーがその割當額に不服を唱へて行惱んでゐる。かういふやうに生產協定となるとなかなか纏らないのである。

だからして、國際カルテルは企業聯合として低度のものだといはなければならない。從つて組織も弱いものである。といふのは、販路協定、價格協定は生產協定までゆかなければ充分にその威力を發揮できないものである。これからして、我々は國際カルテルが大した意味をもつものではないといふ結論を引出すことができる。が、この點はもう少し詳しく見る必要があらう。

普遍カルテルか世界恐慌か

この國際カルテルは資本家階級によつて大きな期待を掛けられてゐるものである。といふのは、これによつて——廣くいへば、獨占經濟の確立によつて——自由競爭を基礎とした資本主義の無組織な、いはゆる無政府主義的な性質を除いて、そこから必然的に出てくる資本主義の崩壞を防がうとするのである。それによつて彼等の支配を永久化しようといふ望みをもつてゐるのである。もう少し具體的にいふと、資本主義の矛盾は、一つには、「恐慌」に現はれる。そして、「恐慌」の繰返されるにつれて、資本主義は一歩一步沒落へと急ぐのであるが、恐慌は、表面的には、生產と消費とがうまく一致しないことから起る。そこで、いま、カルテル、トラストによつて企業者間の競爭をなくし、生產を制限し、消費とうまく一致させようと、かういつた目論見なのである。そして、カルテル、トラストが眞にこれに役立つためには、——前にのべたやうに——世界經濟の舞臺

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

では、國際カルテル、國際トラストまで至らなければならない。

だが、さううまく問屋で卸らすだらうか？ 第一、國際カルテルが極めて組織の弱いものだといふことは既に述べた。この程度の弱いものでは世界資本主義の矛盾を除くなどいふことの不可能なことは明かである。

さらに、國際カルテルは、數が多いとはいへ、決して總ての産業に悉く行亘つてゐるわけではないし、また將來とてもさうなる見込がない。相當に高度の組織をもつた、永續的な國際カルテルは、自然的獨占（生産地が極めて限られゐるやうな産業）か、極く特殊な場合として前の「製鐵カルテル」において見たやうな特別の特許權に基くものかに限られてゐるといふことができる。

そこで、我々は、 界經濟において、國際カルテルその他に組織された企業と、さうでない企業との對立をば將來においても、ずつと、考へなければならない。しかるに、このことは對立してゐる兩産業――組織された産業と組織されない産業との――の差を非常に大きくするといふことである。それでは世界資本主義の矛盾は減じるどころか、反對に、一層深刻に、一層廣い範圍において生じてくることにならう。その結果は激烈な世界恐慌である。

しかし、假りになにかの奇蹟で總ての産業が國際カルテルに組織されることになつたとしたところで、まだ駄目だ。全部の國際カルテル自身の間の權衡がちようど具合よくとれなければ資本家的生産に伴ふ矛盾は消え失せない。これがためには、世界の全生産が唯一つの世界トラストに統一されねばない。ブルジョア學者のいふ「普遍カルテル」の成立が必要である。が、そんなことは、當り前の頭を持合せてゐる者には空想すらもできないことである。

我々はこゝで、カルテル、トラストが企業者、資本家の競爭を實際には減じてゐないことを知らねばならない。企業者は協定の範圍内で少しでも多くの利潤を得ようとしてあらゆる努力をしてゐるのである。だからして國際カルテルなどは作つては破れてゐる。これが現實である。これから見れば「普遍カルテル」などゝいふことは、火星の住民との交通といふことぐらゐの可能性しかもつてゐない。

結局「國際カルテル」はなんら世界資本主義の無政府主義的な性質を變へるものではない。世界資本主義の矛盾を解きうるのはたゞ「世界恐慌」だけである。（一九二六―九―一九）

編輯後記

■今月から京都で印刷することゝなつて、おかげで久し振りに京洛の秋にひたり乍ら、編輯に從つて居る。事務の不備、印刷所の不慣、等々の原因はまたしても發行日を申譯けなく遲らせて居る。この點、御宥恕を乞ふ次第である。

■「大衆」前號に載つた二論文「中間派」を扱つたものは、マルクス主義山川均氏のものと對照されてはしなくも可成の物議をかもした。西雅雄氏によつて「中央派としての社會思想」が問題とされて居る程、中央派中間派の問題が問題とされようとして居る際でもあり、論旨に充分でない點もあつて、一層問題となつた。

■傑誌マルクス主義は、この問題のため十月號をあてるさうである。理論鬪爭の雄である傑誌のこの企てに對して、私は敬意を表する。かくして、一問題毎にその論點を明かにして、無産階級的觀點を誤らないでゆくことは、お互の任務でなくてはならぬ。我等は傑誌に期待する所頗る大である。

■鎌倉の山川氏よりこの問題について書きたい旨の來信があつた。豫定の都合で、「尚十分この點について論じて見たい」旨を書きそへて斷つた。それはマルクス主義にのるさうである。氏よりは、「充分に論じて明かにして見よう、併しこのため感情に走ることは止して、どこまでも理論的にゆかう」とあつた。

■我等はもとより同感、諸君に於ても同様であらうと思ふ、徹底する所まで論じて欲しい、我等にして間違つて居るならば、我等は斷乎として改むるに躊躇しない、と考へて居る。

■中間派をいかに扱ふかを今日論じておくことは、急務中の急務であらう。

■この問題を解決する鍵は、蓋し「左翼結成の方法」及び「農民組合の現在ある段階」とにかゝるであらう。それと關聯して勞農黨對策である。この點については、あまり論じられてないやうである。併し、その點について論じない限り、問題は解決されたものではない。

■果然、稻村君から農民組合の問題に關して原稿が來た。言葉の不備の點があるやうに思ふが怱忙のうちに書いたのであらうから諒して讀んで貰ひたい。本號守田道輔君(山口縣聯合會)の論じられて居る如く、方向轉換の過程に入つた農民組合、しかも雜多な分子を含み、雜多な社會經濟的條件の下にあるそれこれに對して政策を誤らないことは、何んと云つても必要である。

■勞農黨と云へば、總同盟はいよ〱左翼との正面衝突を挑んで來た。今秋より來春にかけてと「文治」は氣焰をあげて居る。爭奪の的となる中間派(殊に農民組合)はまたしても問題となる。左翼はよく獲得せねばならぬ。

■この編輯後記はなか〱議論めいた議論だ。それで仕事はなか〱進まぬ。來月からは決して遲らせぬからよろしく(SM)

定價

○壹部參拾錢(送料壹錢)
○半年壹圓七拾錢(稅共)
○一ヶ年參圓參拾錢(稅共)

廣告料

○一等八拾圓
○二等五拾圓
○三等參拾圓
(但し、半頁はお斷り)

大正拾五年九月廿八日印刷
大正拾五年十月一日發行

編輯發行兼印刷人　黑田壽男

東京市芝區南佐久間町二ノ二
發行所　大衆社
(振替口座東京一六二三八番)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

―社會思想叢書―

田中九一譯
ボルハルト原著
社會思想叢書第一編
マルクス 經濟學大綱

正價貳圓五拾錢
送料拾八錢
四六版布製
約三百二十頁

ボルハルトは、その著書の邦譯も少なからず出てゐる今日改めて紹介する迄もなく、六ケ敷い經濟理論を通俗的に說明する事を以て有名な人である。本書は彼が難解とせらるゝマルクスの資本論の重要なる部分に就て、嚙んで含めるやうな解說をなし、而も徒に簡に失する事なく相當に深い所迄論及してゐる所に本書の特色がある。―譯者―

嘉治隆一
後藤信夫 共著
社會思想叢書第二編
マルクスとエンゲルス

正價參圓參拾錢
送料拾八錢
四六版布製
約四百頁

マルクスとエンゲルスとの生涯の事業と、其背景をなした當時の社會狀態の變遷とを、簡單に、而も正確に傳へやうとするのが本書の目的である。詳細な年譜・兩人の關係目錄と其略註及十枚の寫眞とを附錄としたのも、其目的を助けるために外ならぬ。研究の深淺如何なる道程にある人にも何等かの便宜を與へることを信じてゐる。

三輪壽壯譯
カウツキー原著
社會思想叢書第三編
社會民主黨綱領解說

正價參圓五拾錢
送料拾八錢
四六版布製
約四百六十頁

原著者が社會主義理論の權威であることは云ふまでもない。本書は有名なる一八九一年のエルフルト綱領に從つてカウツキーが社會主義的思想の中で重要であり、又社會民主主義を了解するに有用なるものを凡て通俗的に說明したものである。從つて又本書は社會主義文獻の貴重なる一である。

友岡久雄譯
ベートリ原著
社會思想叢書第四編
マルクス價値論の社會的研究

正價貳圓參拾錢
送料拾八錢
四六版布製
約三百十頁

有名なるカルル・ディール教授は本書を推奬して曰く、「マルクスに關する著書は世に汗牛充棟も只ならぬが、彼は彼の取扱つた問題に對し一新生面を克ち得てゐる」と。附錄としてグリコロヴイッチの「マルクスとラッサール價値論」を譯載す。共に價値論上必讀の文字也。譯筆は明暢。江湖に薦む。

八木澤善次譯
リープクネヒト原著
社會思想叢書第五編
英國價値學說史

正價壹圓八拾錢
送料拾八錢
四六版布製
約二百八十頁

何人も獨逸社會運動史を繙きウイルヘルム・リープクネヒトの名を忘れる人はないであらう。本書はこの實際家の幾多ある著書の中の一つであつて經濟學上の中心問題たる價値論を英國の夫れに卽して論究したるもの。學究としての彼の一面は本書に於て躍如としてゐる。敢て篤學の士に奬む。

◇近刊◇
社會思想叢書第六編
唯物史觀より觀たる經濟學史　住谷悅治著

京都市丸太町通寺町東
振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京神田淡路町二ノ四
振替東京五三九〇九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

河上肇編纂

（マルキシズム叢書）

▲本叢書は、吾々がマルキシズムの研究のため缺ぐべからざる、少くとも有益なる文献と認むるものを、順次收めてゆく爲の一つの文庫である。
▲各冊の頁數、從つてその裝釘は、全く不同である。
▲たゞ吾々の期するところは、その外部的顯現の多樣性に拘らず、その內容に於て本質的の統一を保たしめんことである。
▲未開の曠野は遠く前途にひろがる。吾々は吾々の力の竭くる日に至るまで、最善を盡して此の叢書の冊數を累積してゆくであらう。

I 河上肇譯

レーニンの辯證法（デボーリン）

定價　、八五
送料　、一五

本書には、デボーリンの二原著、革命的辯證家としてのレーニン、レーニンの辯證法に關する斷片について、及レーニンの遺著辯證法に關する斷片の三者を收む。何れも一旦「社會問題研究」および「我等」に掲載されたものであるが、今回これを一冊子に纒むるに當り、先きの抄譯を改めて全譯となし、且つ全部に亘つて嚴密なる校訂を施されたもの。マルキシズム――レーニズムの根本特徴の一つたる唯物的辯證法を學ばんとする者の看過すべからざるもの。

東京市神田區淡路町二
振替東京五三九〇九番

弘文堂書房

京都市丸太町通寺町東
振替大阪一七〇五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Ⅰ 淺野晃譯

哲學の貧困（マルクス）

定價二、九〇
送料 、二七

一八四七年フランス文を以てマルクスの著した經濟學上の處女作である。之より先きフランスの社會主義者プルードンは「貧困の哲學」を著した。本書はこのプルードンの小ブルジョア的見解の迷妄を論駁するために著したもので、吾々はそこに早くも後年におけるマルキシズムの理論的細胞の多くのものを見出すことが出來る。本譯書は、これをフランスの原文より直接に譯出し、尙附錄としては「マルクスのプルードン觀」、「マルクスの自由貿易論」（梅田民藏氏譯）、エンゲルスの長序、等々を添へ、以て定譯本となすに足る丈の用意を盡したるもの。

Ⅱ 河上肇著

階級鬪爭の必然性とその必然的轉化

定價 、五〇
送料 、一五

資本主義の社會には何故に階級鬪爭が起らねばならぬか？ 何故その鬪爭は經濟的から政治的に轉化せねばならぬか？ その說明を資本主義社會そのもの丶機構に求めたる本書は、或る意味においてマルクス資本論第一卷への入門の好個の手引となるであらう。

京都市丸太町通寺町東 振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二 振替東京五三九〇九番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

V

河上肇 譯註

改版

勞賃價格及利潤（マルクス）

定價 、四〇
送料 、一五

▲勞働學校・講習會等における最上の教科書の一つ▼

本書はマルクス自身の筆になる彼れの經濟理論の要約としてマルクス經濟學入門の最上の手引である。今回三たび譯文の校訂を經、補註を加へ、縮刷版となし、定價は舊版の約三分の一に引下げ、廣く江湖の需要に應ぜんことを期す。

マルキシズム叢書近刊豫定

反デューリング論（エンゲルス） 林要、河野密共譯

神聖家族（マルクス エンゲルス） 河野密譯

經濟學批判序說（マルクス） 宮川實譯

價値形態論（マルクス） 赤松五百麿譯

ヴエラ・ザスリッチへの手紙（マルクス） 淺野晃、喜多野清一共譯

社會科學問答（エンゲルス） 森戸辰男譯

ケルン共產黨事件（マルクス） 村山藤四郎譯

初版資本論首章（マルクス） 小林輝次譯

カントの辯證法（デボーリン） 宮川實譯

京都市丸太町通寺町東 振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二 振替東京五三九〇九番

岡村司著　**民法と社會主義**　定價參圓　送料一八

社會主義を法學的に研究する事が博士畢生の事業であつた事は、本書の例言に引用された明治三十年代の博士の手記に依つて明かである。本書はその一生を通じて濺がれた心血の結晶で、殆ど凡ての問題が網羅されてある。文章は莊麗、結構は雄大、永く讀書人の友たるべきもの。

井上登譯（アントン・メンガア）　**民法と無産者階級**　定價貳圓五拾錢　送料一八

本書は碩學メンガアが獨逸民法草案に下せる批評である。無産階級の利益の爲め、又無産階級の立場からの法律批判たる本書は同時に現代の法律及法律學殊にその私法及私法學に對する鋭き批評を意味し且その嚴しき省察である。附錄として同じ著者の「法學の社會的使命」あり。類書稀なる本書一卷は必ずや諸賢の坐右に備へらるべきであらう。

森戸辰男譯（アントン・メンガア）　**全勞働收益權史論**　定價參圓五拾錢　送料一八

本書は全勞働收益權を中心として近世社會主義思想の源流を窮めた世界的の名著である。今其全譯の外に、嘗て英譯本に附刊され今は絕版となれるホックスエルの緒論及附錄等を譯載し、本篇と相待て英國思想の重要を示す。且、譯者の學殖と文才とは譯筆を曉暢明達ならしめ原文の氣意生動するを見る。

岩城忠一譯（マウトナー）　**ボルシェヴィズム評論**　定價四圓　送料二七

本書はレーニンの主著「國家と革命」を初めとしトロツキー、ラデック、ブハーリン、ジノヴィエフ等の幾多の論著を基礎として、ボルシエヴイズムの理論的全體系のあらゆる首要問題に詳細且つ明確なる解說を加へ、且つマルクス＝エンゲルスの學說に基いてボルシエヴイキの主張に嚴正なる批判を下したものである。譯文は平明流達を極む。

京都市丸太町通寺町東　振替大阪一七〇五番
弘文堂書房
東京市神田區淡路町二　振替東京五三九〇九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

牧山正彥譯（ベーベル）**婦人と社會主義**（全五卷）定價一、壹圓、二、壹圓卅錢、三、壹圓廿錢、四、壹圓拾錢、五、壹圓、送料各一八

云ふ迄もなく原著は社會主義文献史上有名なる著述である。編を分ちて、過去の婦人、現在の婦人（上下）、國家と社會及社會の社會化、となし唯物史觀の立場から、縱横に婦人問題を論じたるもの、譯筆は平明正確、問題研究に篤學の士の御一讀を乞ふ。

長谷川如是閑著 **現代國家批判** 定價參圓五拾錢 送料一八

本書は社會批判と共に長谷川氏獨特の論文集である。第一篇を國家篇とし國家及主權に就て之を發生學的に究明し、且國家道德につき嚴正なる批判を下してゐられる。第二篇を政治篇とし政治の事實と思想とを同樣な立場から論じてある。附錄として學說三篇の紹介がある。

同著 **現代社會批判** 定價參圓 送料一八

我國思想壇の雄長谷川氏の論文を蒐めてある。國家批判と全く同樣なる立場より論究せられたるもの、第一章に於て社會の一般的の事相を取扱ひ、第二章以下に於て勞働、經濟、性、等の特殊の問題につき研究せられてゐる。現實の社會、國家は如何なるものなるかを知るに恰好の書である。

波多野鼎譯（ズエーデンホルスト）**社會政策** 定價貳圓 送料一八

著者は、社會政策を一定の歴史的前提の下に於て必然的に現はれ來る所の、人類社會の進化における一つの發展樣相と考へる。從つて社會政策的諸要求を、人類の生活特にその文化的生活に於ける進化傾向として認め得べき法則性との關聯において論證しやうとするのである。此點に本書最大の特色がある。

近刊豫告

ブハーリン **社會主義への道** 河上肇 大橋積 共譯

京都市丸太町通寺町東　**弘文堂書房**　東京市神田區淡路町二

振替大阪一七〇五番　振替東京五三九〇九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

學生運動

月刊雜誌 ◆ 創刊號 ◆ 學生運動評論

發刊之辭……………………
■自由擁護同盟の成立及び其の任務……二城英之輔
■學生運動の意義……門屋博
■軍國主義崩壞の過程……長谷川如是閑
【資料一】我國學生運動の歷史……谷一
支那における學生運動……久保正夫

全學生運動の指標生る!!
學生大衆よ、之を讀め!!

九月二十五日發賣

【學生欄】明峯女醫事件の教訓
軍教に關する一斷片
スポーツの統一について
■經濟學の對象の問題……淺野晃
■高田保馬博士の國家論批判……村上進
【文藝欄】安樂椅子(隨筆)……ミカイエル・コルゲー
首輪(小說)……鹿地亘
ブック・レヴュー……………………

── 定價壹ヶ月金廿錢・半年壹圓貳拾錢・一年貳圓四十錢 ──

發行所 東京市芝區南佐久間町二ノ二 振替口座東京六四二一六番 學生運動社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

豫告

大衆パンフレット

無産階級の政治運動……大山郁夫

世界經濟より觀たる英國炭坑爭議……櫛田民藏

帝國主義と殖民地問題……大内兵衛

最近世界資本主義の現勢……大森義太郎

唯物辯證法解説……山田盛太郎

勞働立法現下の問題……平野義太郎

—以下續刊—

京都市丸太町通寺町東
振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二
振替東京五三九〇九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

林要譯

ヒルフアデイング原著

金融資本論

定價壹圓貳拾錢	送料拾八錢	約二〇〇頁	假綴

第一分冊貨幣と信用……本書取扱ふところの内容はそのサブタイトル「資本主義最近時の發展に關する一研究」なる文字に由り適切に示されてゐる。レーニンも曾てこの書を帝國主義に關する、屈指の研究書の一として推した。資本主義最後の段階たる所謂帝國主義時代に於て金融資本の持つ役割は如何、その理論的究明は即本書の歷史的使命である、且マルクスの理論をその充分なる形態に於て展開したる點に於て資本論以後の資本論と稱せらるゝ所以。本書は名筆に依る定譯であり且全譯である。

近刊　第二分冊……資本の動員。擬制資本

大正十五年四月二十四日第三種郵便物認可
大正十五年九月二十八日印刷
大正十五年十月一日發行（毎月一回一日發行）

京都市丸太町通寺町東入　振替大阪一七〇五番
弘文堂書房
東京市神田區淡路町二　振替東京五三九〇九番